

令和 7 年 度
契 第 37 号

興文小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置（建築）工事設計書

大垣市 西外側町 地内 ほか

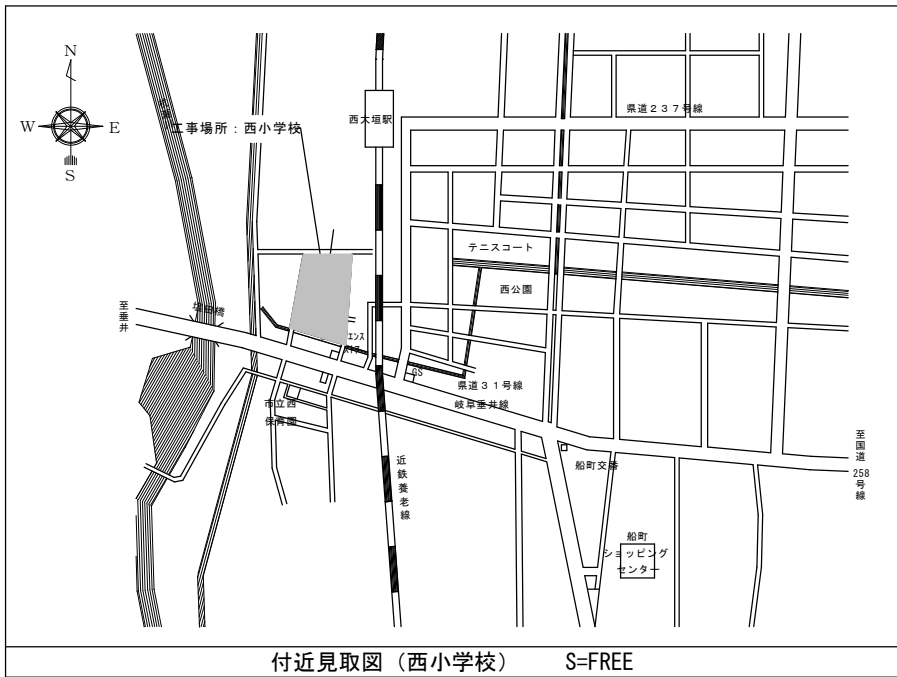
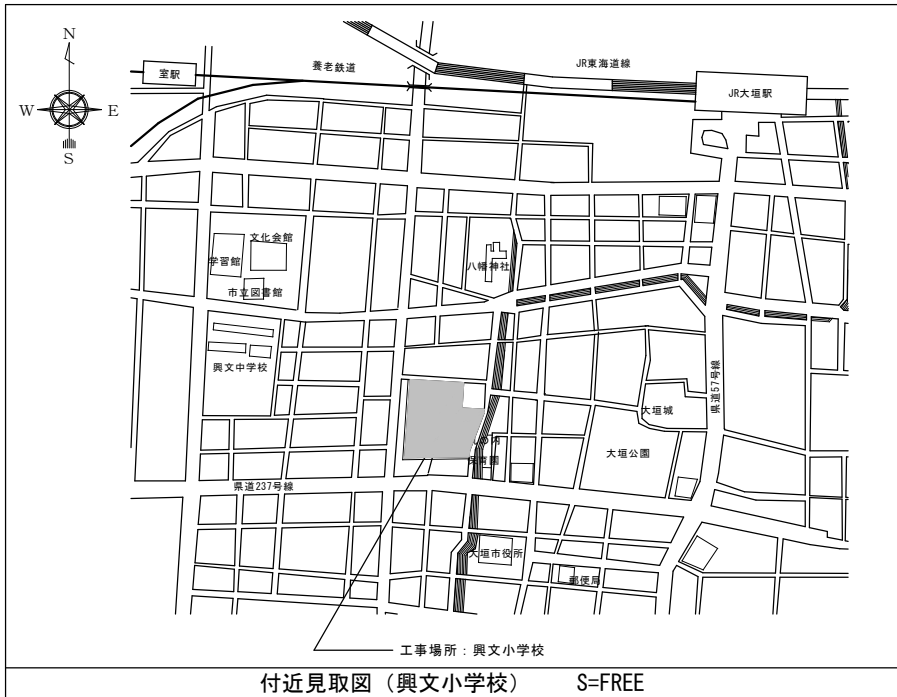
大 垣 市

工事名称		興文小学校ほか 1 校 屋内運動場空調機設置（建築）工事		仮設工事		・工事期間中は工事範囲を適切に区画すること。また必要に応じて解体材・資材等の運搬経路を養生すること。 ・施工中、施設利用を考慮した仮設計画を立てること。 ・工事車両の搬入、搬出の際には、周囲の安全に十分配慮すること。 ・工事用水、工事電力は受注者の負担とする。 ・交通誘導員の配置は、工事期間で4人工程度とする。（鉄骨材搬入、コンクリ打設時）		環境配慮工事		・本工事は、工事範囲の既設建材にアスベスト含有がないことが明らかであるため、大気汚染防止法に基づく事前調査は、対象外とする。（興文小：平成26年3月竣工） 受注者は、大気汚染防止法・同施行令・同施行規則、労働安全衛生法・同施行令、労働安全規則、石綿障害予防規則及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律・同施行令・同施行規則等を遵守し、万全な安全・衛生体制を確保し、施工すること。	
仕 様 書				解体工事		・解体工事はできる限り塵埃、騒音等の発生しにくい工法で施工すると共に、他の室への埃等の進入を防ぐために、養生を行うこと。また、解体により発生した廃材・ガラ等は、極力、リサイクルに努めること。				1）事前調査 以下の項目について ①印の付いたものを適用する。 ②書面調査 ③目視調査（建築物の着工日が平成18年9月1日以降である場合を除く。） ・分析調査（書面調査及び目視調査により石綿含有の有無が把握できない場合。） ④調査済結果確認（令和7年3月末調査） ⑤石綿含有建材 【西小：器具庫、階段室、更衣室の床（長尺シート）※工事対象外範囲 】 ・石綿含有みなし建材【 】 ※石綿含有みなし建材として積算している建材については、分析調査の結果により石綿の含有が認められない場合は、契約金額の減額対象進捗客石綿含有建材調査者又は一定の実地経験を積んだ一般建築物石綿含有建材調査者が事前調査を行うこと。	
工事概要		・屋内運動場（興文小・西小）に空調機を設置するための架台及び空調機基礎の設置ほか		工事場所		大垣市 西外側町 地内ほか				2）事前調査資格者 ・調査者は以下のいずれかの資格を有する者とする。 ①特定建築物石綿含有建材調査者 ②一般建築物石綿含有建材調査者 ③令和5年9月までに日本アスベスト調査診断協会に登録された者 ④一戸建て等石綿含有建材調査者（一戸建て住宅や共同住宅の住戸の内部のみ調査可能） ※石綿含有建材の種類が多岐に亘るような大規模建築物又は改修等を繰り返しており石綿含有建材の特定が難しい建築物につ	
週休2日制工事		・本工事は、週休2日制工事（月単位・通期）とする。※「大垣市発注の週休2日制工事要領」参照		土工事		・埋め戻しはB種とし、各層300mm程度毎に締め固めること。				3）事前調査報告 岐阜県知事及び所轄労働基準監督署長へ報告を行うこと。	
事前調査		・本工事施工前に現況調査を十分に行うこと。尚、不明な点は市監督員との協議による。		鉄筋工事		・鉄筋は鉄筋コンクリート用棒鋼（JIS G3112）SD295とし、重ね継手は可とする。				4）特定粉じん排出等作業にかかる掲示 本工事が大気汚染防止法に規定する特定工事に該当するか否かについて、297mm×420mm以上の掲示板にて工事表示板と併せて掲示し、特定建築材料に関する事前調査結果等を記載すること。	
工程及び搬入		・工事の工程及び機器等の搬入方法は、市監督員及び施設管理者との協議の上、施設の運営に支障の無いように進めること。		コンクリート工事		・コンクリートは普通コンクリート（Fc＝21+S N/mm ² 、スランプ 18）とする。 S：構造体強度補正値 ・捨てコンクリートは普通コンクリート（Fc＝18 N/mm ² ）とする。				その他	
官公署等への手続		・工事の完成に必要な官公署等への手続は、費用を含め受注者の責任に於て行うこと。		鉄骨工事		(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による ■ 日本建築学会 「JASS6」「鉄骨精度検査指針」「鉄骨工事技術指針」 □ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」 □ 鉄骨製作監理技術者登録機構「突合せ継手の入れ違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」 (2) 工事監理者の承認を必要とするもの □製作工場 ■製作要領書 ■工作図 ■施工計画書 □認定または登録工場（大臣認定 S H M R J グレード） ■材料規格証明書※、または試験成績書 ■鋼材 ■高力ボルト □特殊ボルト □頭付スタッド ※社）日本鋼構造協会「建築鋼構造用鋼材の品質ガイドライン」の企画証明方法、又はミルシート ■社内検査表 (3) 工事監理者が行う検査項目 （ ■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること ） □原寸検査 ■組立・開弁検査 ■製品検査 ■建方検査 (4) 接合部の溶接は下記によること ■平成12年建設省告示第1464号 イ、ロ □鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要領（建築構造設計指針第12章） ■日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」 ■日本建築学会「鉄鋼工事技術指針 工事現場施工編」 (5) 接合部の検査 ■溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）					
安全管理		・受注者は災害公害及び危険防止のため、関係法規の定めるところに従い充分な策を講じ施工すること。 尚、必要があれば適切に足場・仮囲い・養生等を行うこと。 ・工事中発生した公害及び近隣よりの苦情に対しては、施工者の責任において対処する。 ・工事中は必要に応じて交通誘導員を置き、他への安全に期する。 ・車両の出入りに際しては、土落しなどの対策を行うなど、周辺道路の汚損等が無いような対策をとること。 汚損した場合は、直ちに清掃、修復を行うこと。		保険等		・第三者に損害を与えた場合及び工事目的物、工事材料に損害を被った場合の保証を目的とする損害保険、建設工事保険等に加えること。				・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管理課契約管理課にその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トリプルガラスシート貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ワザレレスの実施要領に基づくワザレレスの実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術を利用する方法により、現場の施工体制を確認するための措置を講じること。情報通信技術については、現場作業員の入退場が遠隔から確認できるものとする。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が当該工事現場以外の場所から当該工事現場の状況の確認をするために、情報通信機器を設置し、かつ、当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境を確保すること。情報通信機器については、遠隔の現場との必要なやりとりを確実に実施できるものとする。	
使用材料工法		・使用材料の選定に当たっては、環境に優しい材料及びリサイクル商品（グリーン購入法）、エコ製品の使用、環境負荷を軽減する工法を考慮すること。 ・本工事に使用する建築材料等は、本図書に規定するもの又はこれらと同等のものとし、その場合は市監督員の承諾を受けること。 ・建築工事共通仕様書又は建築改修工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品指定工法による。		施工計画		・工事に先立ち、関係者と打ち合わせを行い、仮設を主とした施工計画を立案すること。					
施工図等		・次の工事については、その施工前に施工図を提出し、市監督員の承諾を受けること。 （鉄骨架台製作図、機械基礎配筋図等）		施工図等							
隠蔽部の検査		・埋戻し、コンクリート打設及び内外装の仕上げ等により工事部分が隠蔽となる部分については、市監督員の立ち会い・検査を受けること。また、立ち会い・検査が困難な場合は、承諾を受けた後、施工前・施工中・施工後を写真等で確認できるようにすること。		隠蔽部の検査							
廃棄物の処分		・解体及び解体材の処分に当たっては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）（以下、「建設リサイクル法」という。）に準じ、分別解体、再資源化を図ること。 また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和45年 法律第137号）により収集・運搬・最終処分等、担当責任者別に受託契約書を締結し、その写し、処分状況報告書（記録写真、処分書類等）及びCOBRISを提出すること。		廃棄物の処分							
再資源化		・建設リサイクル法の規定が及ばない資材についても、同法の規定に準じて分別解体、再資源化に努めること。		再資源化							
別途工事		・密接に関連する次の別途工事とは、お互いに協力して施工するとともに、工事を円滑に進めることが出来るように調整連絡を行うこと。 別途工事：興文小学校ほか 1 校 屋内運動場空調機設置（空調）工事 西小学校 南舎西便所改修（建築・電気・衛生）工事		別途工事							
引き渡し		・工事完成による引き渡しに当たっては、受注者は社内検査を行い、合格後、諸官公署、建築主の竣工検査を受け、必要書類、物品と共に引き渡し、その後の適正な運用に協力する。		引き渡し							
品質確保		・受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了時点で所定の様式により提出することができる。		品質確保							
シックハウス対策		・ホルムアルデヒド及びVOCを発生させる又は含む材料をやむを得ず使用する場合は、ホルムアルデヒドについては☆☆☆☆、その他VOCについては出来る限り低含有量のものを使用すること。また、施工前及び施工完了後に揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、文部科学省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 ・測定項目：ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、メチルベンゼン、パラジクロロベンゼン ・測定箇所：ヶ所 測定方法：試料採取方法、分析方法 ヘッド型（24時間）とする		シックハウス対策							
中間検査		・中間検査の実施は、「大垣市中間検査要綱」に基づき実施するもの。なお、中間検査は、給付の対象としない。		中間検査							
家屋調査		・家屋調査は、用地調査等業務共通仕様書（岐阜県）を準用して実施すること。 ・家屋調査は、次のいずれかの資格を有する者が行う。 ①補償業務管理士（事業損失部門） ※（一社）日本補償コンサルタント協会の補償業務管理士研修及び検定試験実施規定第14条に基づく補償業務管理士登録台帳に登録されている者 ②家屋調査業務に關し、7年以上の実務経験を有する者 ③発注者が上記①、②の者と同等の知識及び能力を有する者と認めた者		家屋調査							
設計監理		大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL		設計年度 令和7年		工事名称 興文小学校ほか 1 校 屋内運動場空調機設置（建築）工事		図名 特記仕様書		図番 1 / 2 4	

提出書類表

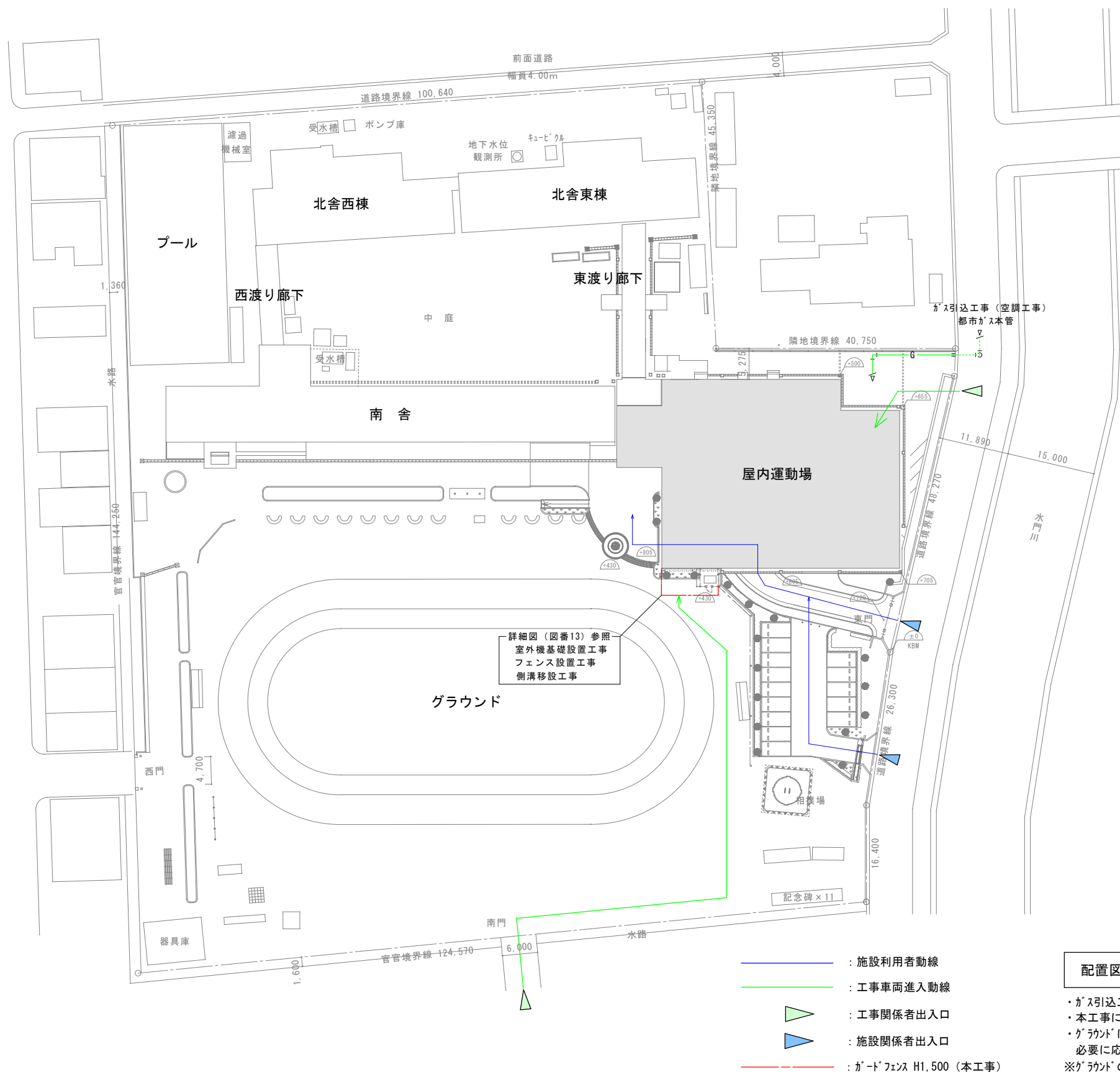
契約書類	R06.4～	項 目	
		着工時	完成時
契約書類	着工時	★着工届 ★現場代理人・(専任)主任技術者・監理技術者補佐届・(専任/特例)監理技術者届 ※(専任)主任技術者・監理技術者補佐届は、資格要件のわかる書類添付 ※(専任/特例)監理技術者は、監理技術者有資格者証の写しを添付 ※現場代理人届に直接的な雇用関係がわかる書類、その他の各届出書に直接3ヶ月雇用のわかる書類を添付(経歴書または健康保険証等の写し) ★工程表(ネットワークと出来高予定を含む) ※契約後10日以内 請負代金内訳書 ※発注者が指示した場合に限る 約款第3条 各種工事保険証書の写し ※火災保険、建設工事保険 約款第58条	
		★完成届 ★出来形届書 ※支払いがある場合にその都度 ★請求書 完成写真(着工前・完成) ※ドレン・グ・ベ・ン付(完成写真の方に色付け、撤去部分:青、新設部分:赤) 写真撮影方向を示す図面添付	
完成成果書類	赤ファイル	1 完成図 2 施工図 3 保証書・取扱説明書 ※保証書の保証開始日は、引渡し日(完成検査合格日) 4 現況調査報告書(現場着手前の周辺道路、水路、境界構造物、KBM等を調査し、現況写真を添付) 5 家屋調査報告書(事前・事後) ※別ファイル	
		1 完成写真(着工前・完成) ※ドレン・グ・ベ・ンなし 工事写真 ・工程別写真(着工前・中・完成) ・安全管理状況写真 ・標識・掲示写真(建設業許可票、労災保険関係成立票、施工体系図、下請負人に対する通知、建退共制度事業主の現場標識、緊急時連絡票、作業主任者選任表示板、建基法による確認表板、解体工事業者登録票、石綿事前調査結果、石綿使用した建築物の解体工事のお知らせ、再生資源利用促進計画書、工事表示板(W900×H1200)) ※全体および拡大写真 3 工程表 ・全体工程表、実施工程表、月間工程表、週間工程表(休日、夜間作業届を兼ねる) 4 施工計画書 ・総合施工計画書 ・工種別の施工計画書(施工要領書) 5 施工体制関係書類 ・施工体制台帳 ※県第18号様式 ・主任(監理)技術者の資格要件を証明する書面、雇用を証明する書面 ・施工体系図 ※県第19号様式 ・契約書の写し(元請け、下請け全て) ・作業員名簿 ※県第18-2号様式 6 産業廃棄物関係書類 ※廃棄物処理法施行令第6条の2 ・産業廃棄物処理委託契約書(写し) ・処理業者(収集・運搬・処分)の許可証(写) ・中間・最終処分場までの運搬経路図、写真 ・産業廃棄物管理表(マニフェスト票) ※掲示のみ 7 再生資源関係書類(COBRIS) ※請負代金100万円以上 ・再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書 ・再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書 ※提示のみ 青ファイル(補助工事は灰ファイル) 8 出来形管理 ・月毎の工事履行報告書(出来形率、工程表、写真) ※補助工事または工期6ヶ月超の工事 ・工種別の出来形管理資料(出来形管理図、測定結果一覧表) 9 品質管理 ・工種別の品質管理資料(品質管理図、基準値対比表、写真) ※建物位置・高さ、杭芯ズレ、基礎寸法、鉄筋外観、鉄骨建起し、内装墨位置等 ・工種別の試験結果報告書 ※コンクリート強度試験、鉄筋(鉄骨)超音波探傷試験、塗膜厚測定試験、VOC環境測定試験 10 使用材料 ・材料承諾書(全ての材料) ※材料資料(メーカーカタログ、大臣認定書、JIS規格書、コンクリート配合計画書等) ※設計数量と計画数量の対比表 ・出荷証明書(メーカー出荷証明書、納品書、ミルシート等) 11 打合せ記録 ・打合せ記録簿(定例会議、個別会議) ・設計図書の疑義による協議書および指示書 12 安全管理・安全教育 ・道路使用許可等の関係機関の許可書の写し ・使用機械・工具・車両等の点検等、過積載防止の記録簿 ※提示のみ ・安全教育実施報告書、安全巡視、TBM、KY等の実施記録、新規入場者教育の実施書 ※提示のみ 13 建設業退職金共済制度関係 ・建設業退職金共済制度掛金収納書 ・建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表 ※提示のみ 14 工事保険関係 ・火災保険、建設工事保険証券の写し(保険の範囲がわかる約款、カタログ等も添付) 15 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施活動 ・実施状況報告書 ※実施した場合 ※工期短縮の工夫、品質向上の工夫、地域社会や住民に関する貢献等 16 各種法令等に基づく書面関係 ・解体工事等に係る調査結果説明書 (大気汚染防止法第18条の15第1項) ・特定粉じん排出等作業結果報告書 (大気汚染防止法第18条の23第1項) ・休日取得計画書、休日取得実施書、週休2日制工事(現場閉所)報告書 (大垣市発注の週休2日制工事に要領第5条) ・工事に必要な官公署等への届出書類 17 その他 ・監督員通知書 ・工事検査報告書(社内検査、建築課検査) ・上述No.1～16以外の工事書類(提出書、報告書、CORINSほか)	

- 上表の完成成果品書類欄の各書類は、原則、紙面で市指定の表紙(指示・承諾・協議・提出・報告書)を付して、2部(正・副)提出し、決裁された1部(正)を完成成果品とすること。
- 完成成果品書類の電子データは、完成時にまとめてCD又はDVD(本体共)にて提出すること。
※CD・DVDは、完成成果品書類の赤ファイルに、2穴付き不織布ケース(ヤフザライ FCD-FRBD50W)で同梱すること。
※最新のパターンファイルを適用したウイルスソフトでスキャンしたものに限り。
- 完成成果品書類は、背幅伸縮ファイル(303 V-900 94X A4-S)に上表の赤ファイル、青(灰)ファイル別に綴り、市指定の表紙を貼ること。
- 完成成果品書類のファイルが5冊を超える場合は、市指定の収納箱に入れて提出すること。
- ★印の書類は、<https://www.city.ogaki.lg.jp/0000007329.html>に掲載。



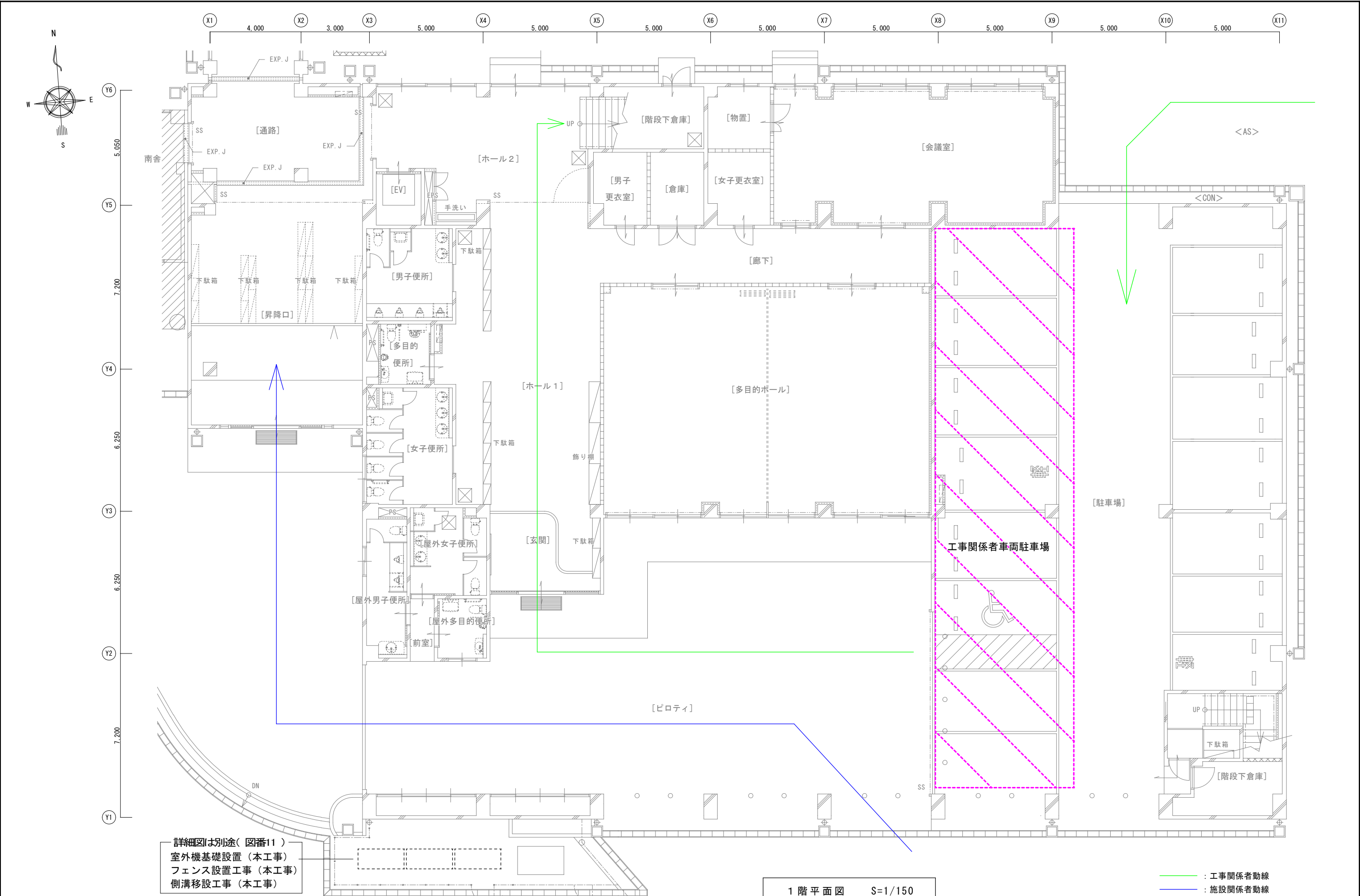
工 事 区 分 表								
適 用	項 目	建 築	電 気	空 調	衛 生	土 木	別 途	備 考
○	直接仮設	○		○				平面図による
○	関係官公署への申請手続	○		○				
	関係官公署の各種負担金							
○	内部足場（軽微なものは除く）	○						
○	外部足場		○					
	給・排水設備の工事完了後の検査手数料							
○	設備機器設置用のコンクリート基礎	○						特記無き限り建築工事
○	設備機器設置用のフェンス（防音、目隠し、マッシュ）	○						
○	設備機器設置用のﾌｧﾝ用孔開及び箱入			○				
○	設備機器設置用のﾌｧﾝ及び埋戻			○				
○	室外機設置用の鋼製架台	○						
○	設備機器設置用のコンクリート基礎の仕上	○						
○	外壁支持金物			○				
○	設備配管貫通穴あけ			○				
○	同上の配管後開口部ふさぎ			○				
○	同上の配管廻のシーリング			○				
○	一般天井の設備機器取付用穴開			○				
	設備機器用取付用の壁及び天井の補強							
	室内機取付用の壁又は天井の架台							
○	室内機設置用の鋼製架台兼防球ガード	○						
	点検用通路の配管上を通行するための歩廊	○						
○	天井（軒天共）の解体復旧（脱着を含む）	○						
○	上記に伴う照明等機器脱着			○				
○	天井及び床の点検口	○						
○	空調設備用の一般電動機			○				
○	同上１次側電源工事			○				
○	同上２次側電源工事			○				
○	空調設備自立電源盤から室内機、その他負荷への配線			○				
○	既設室外機の脱着			○				
	カーテン・暗幕の更新							
○	フェンス、防音パネル	○						
○	舗装工事	○		○				
○	側溝	○						
	車止め							
	外部倉庫							
	点字ブロック							
○	既存樹木撤去	○						

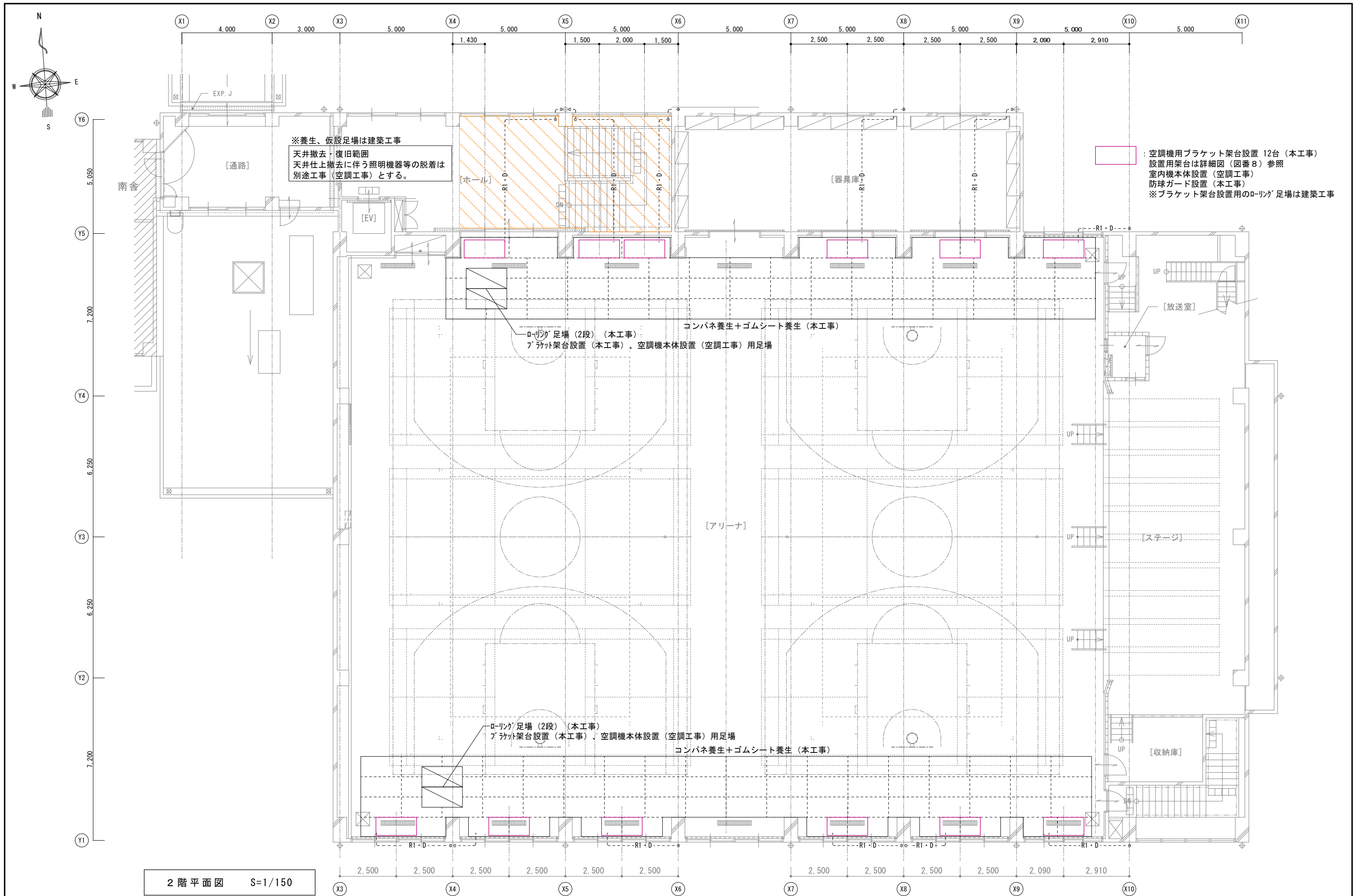
※電気工事は空調工事に含む

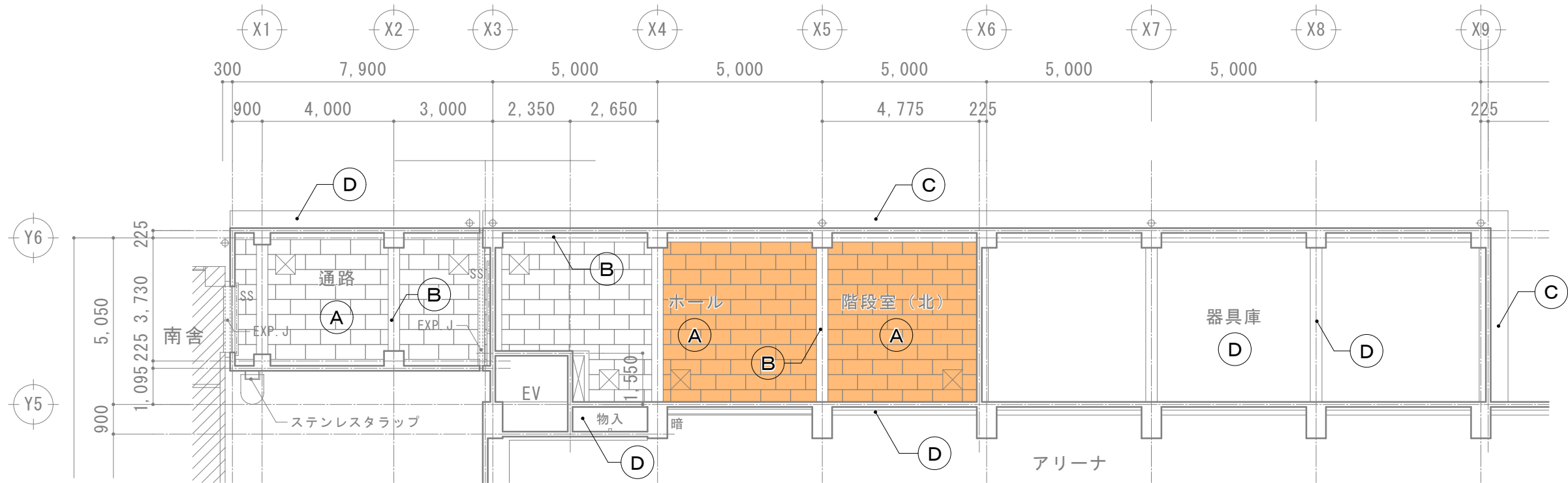


- ・ガ引込工事期間以外は、屋内運動場1階（ビ・ロ・庁舎）を工事関係者車両置き場とする
- ・本工事における屋外足場設置工事は、空調工事受注者にて設置する
- ・ゲラウドに車両を入れる場合、極力、ゲラウド周囲を走行するものとし、必要に応じて、カーコン・バーにて工事車両動線の区画を行うこと

※ゲラウドの利用状況に応じて、ゲラウドの整地を行うこと

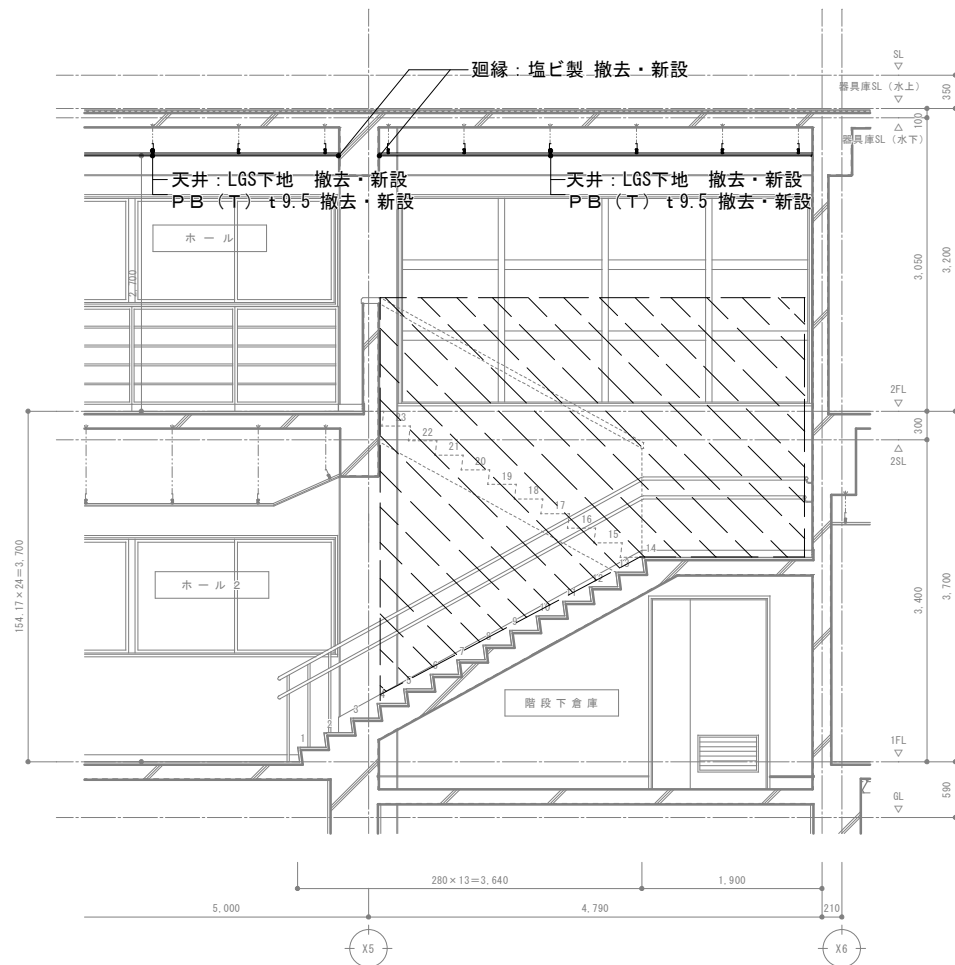
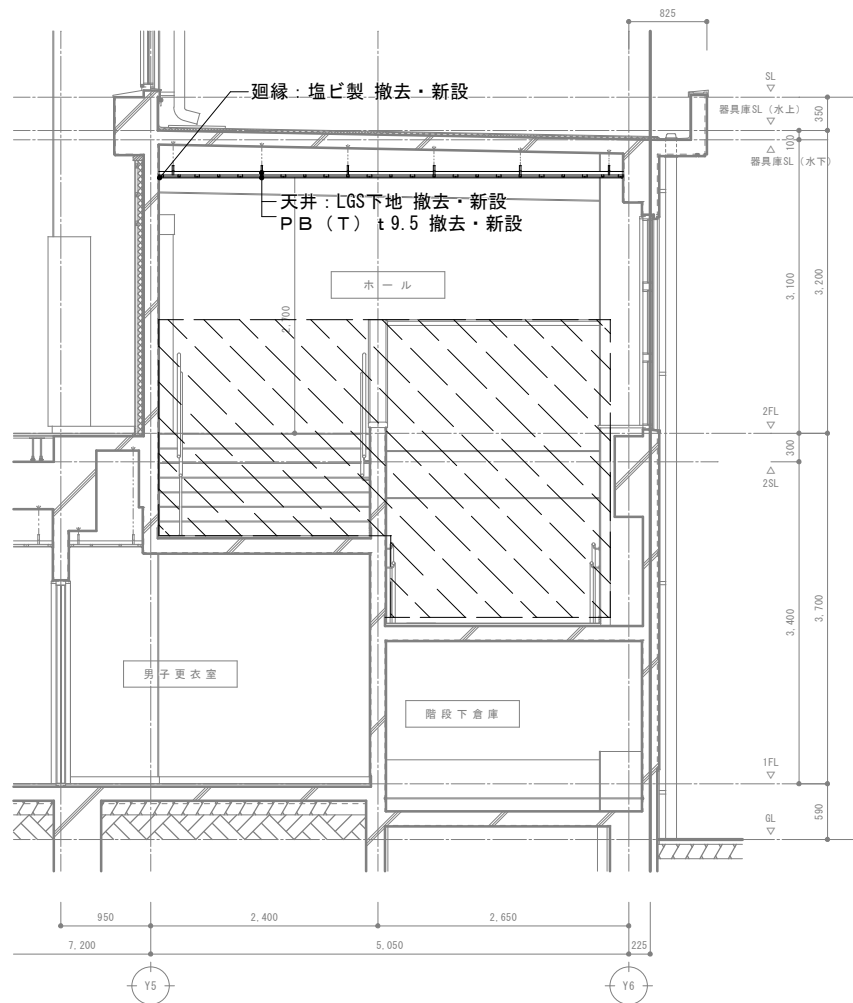




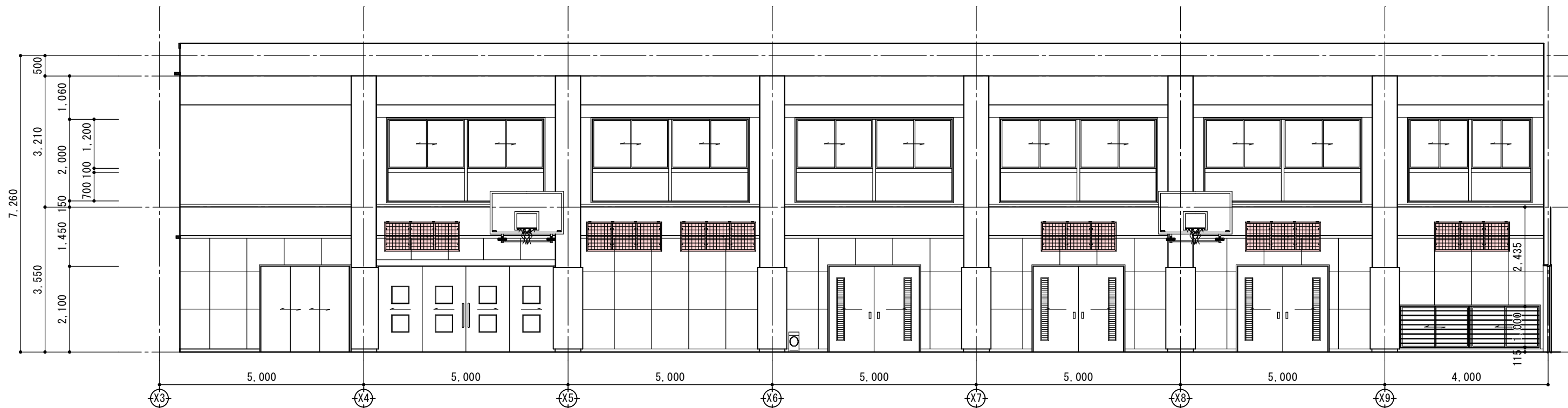


2階天井伏図 S=1 : 150

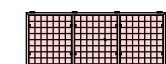
凡 例	
○A	PB(T) : 化粧石膏ボード (トラパーチン) t=9.5 下地 : LGS
○B	化粧型枠コンクリート打放し 吹付タイル 複層仕上塗材E ゆず肌状
○C	化粧型枠コンクリート打放し 外装薄塗材E ゆず肌状
○D	化粧型枠コンクリート打放し
	既設仕上撤去・復旧 (下地LGS共) 仕上 : 化粧石膏ボード (トラパーチン) t9.5 塩ビ廻り縁 撤去・新設 その他 : 天井点検口 2カ所再利用



…階段室用棚足場設置
※ホール部分は脚立足場設置 (本工事)

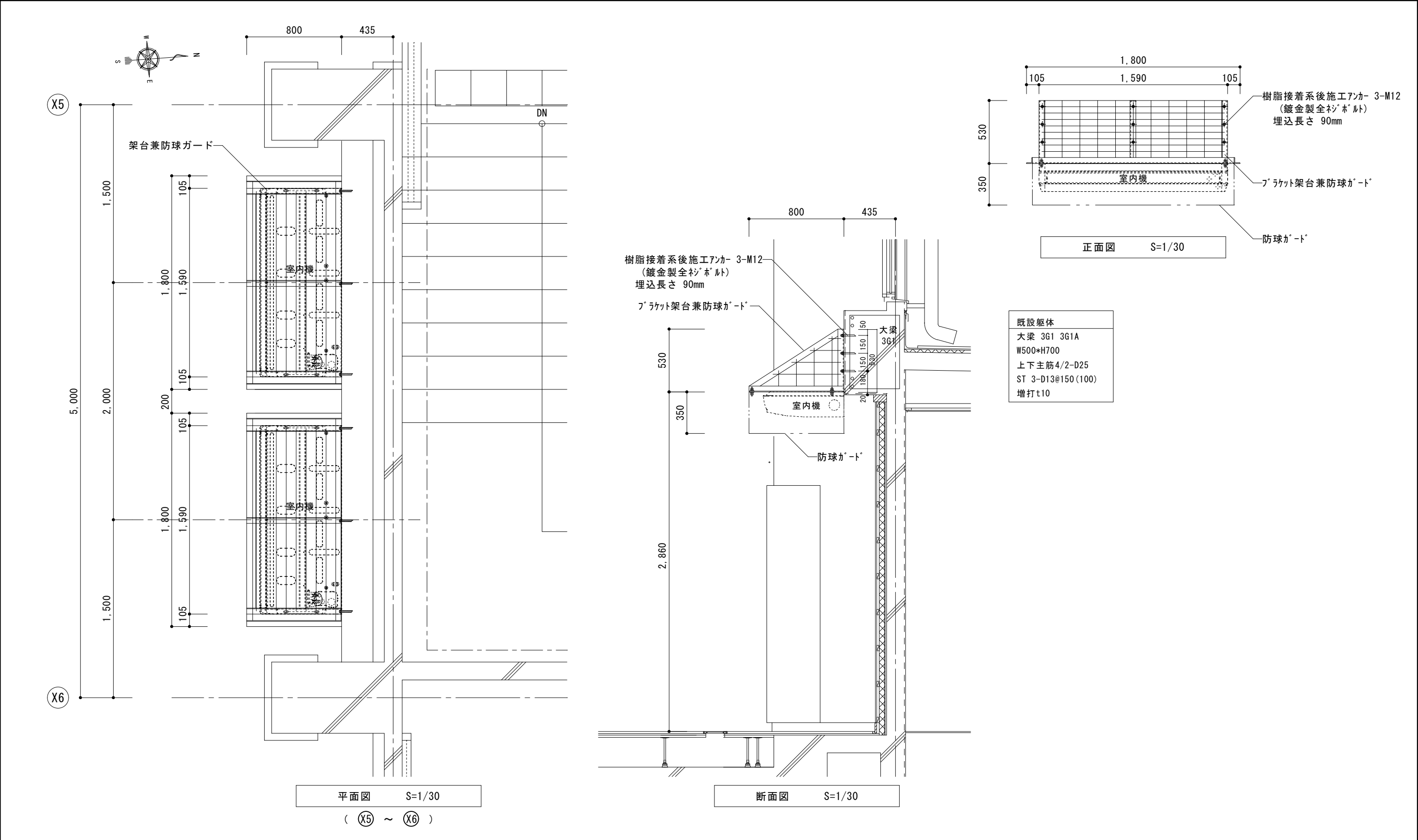


アリーナ北側展開図 S=1/100

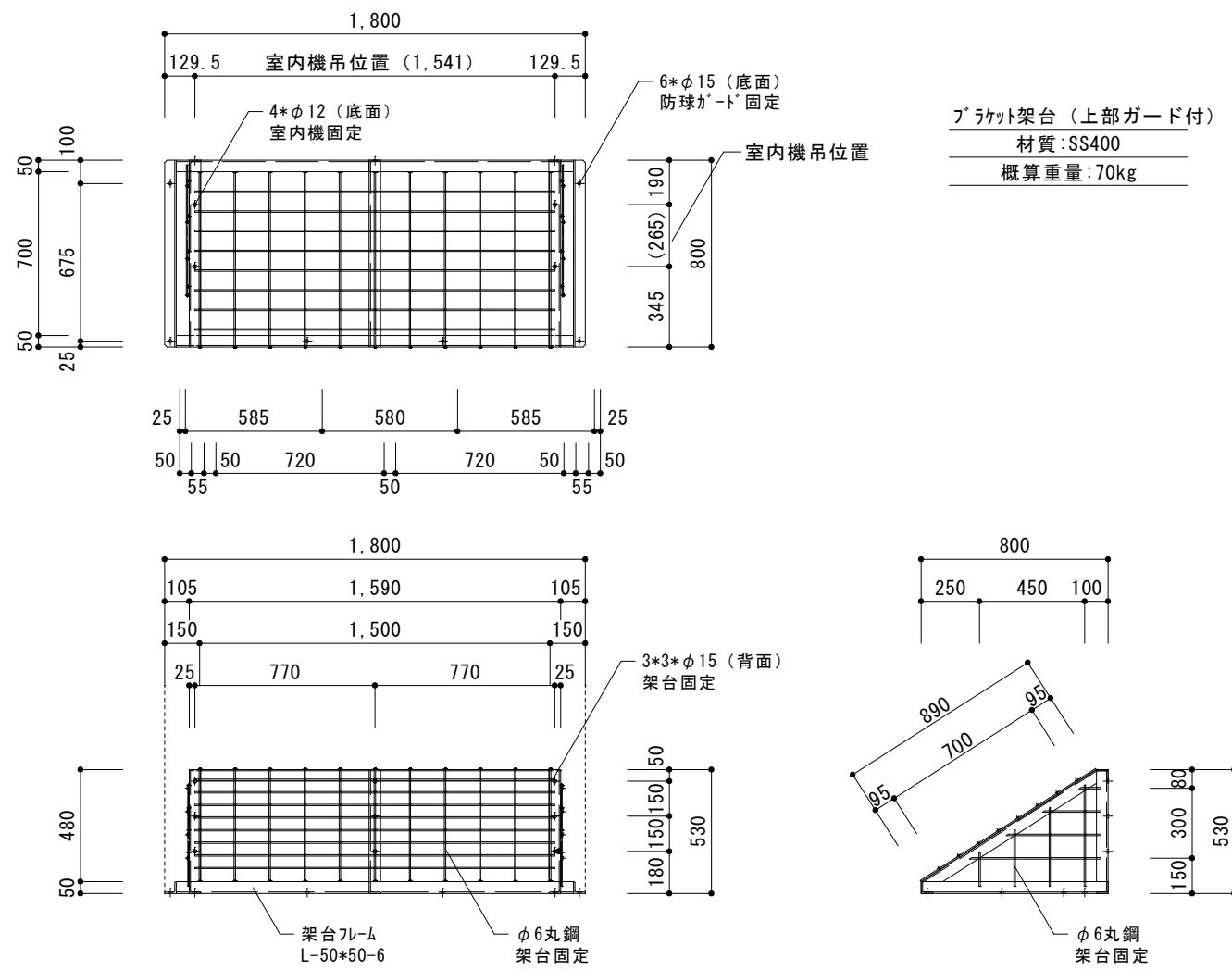
 : 室内機用ブラケット架台12台 W1,800×D800×H530
 同防球ガード 12台（詳細は図番9参照）
 上記は本工事にて製作・設置
 ※空調機本体は空調工事にて取付



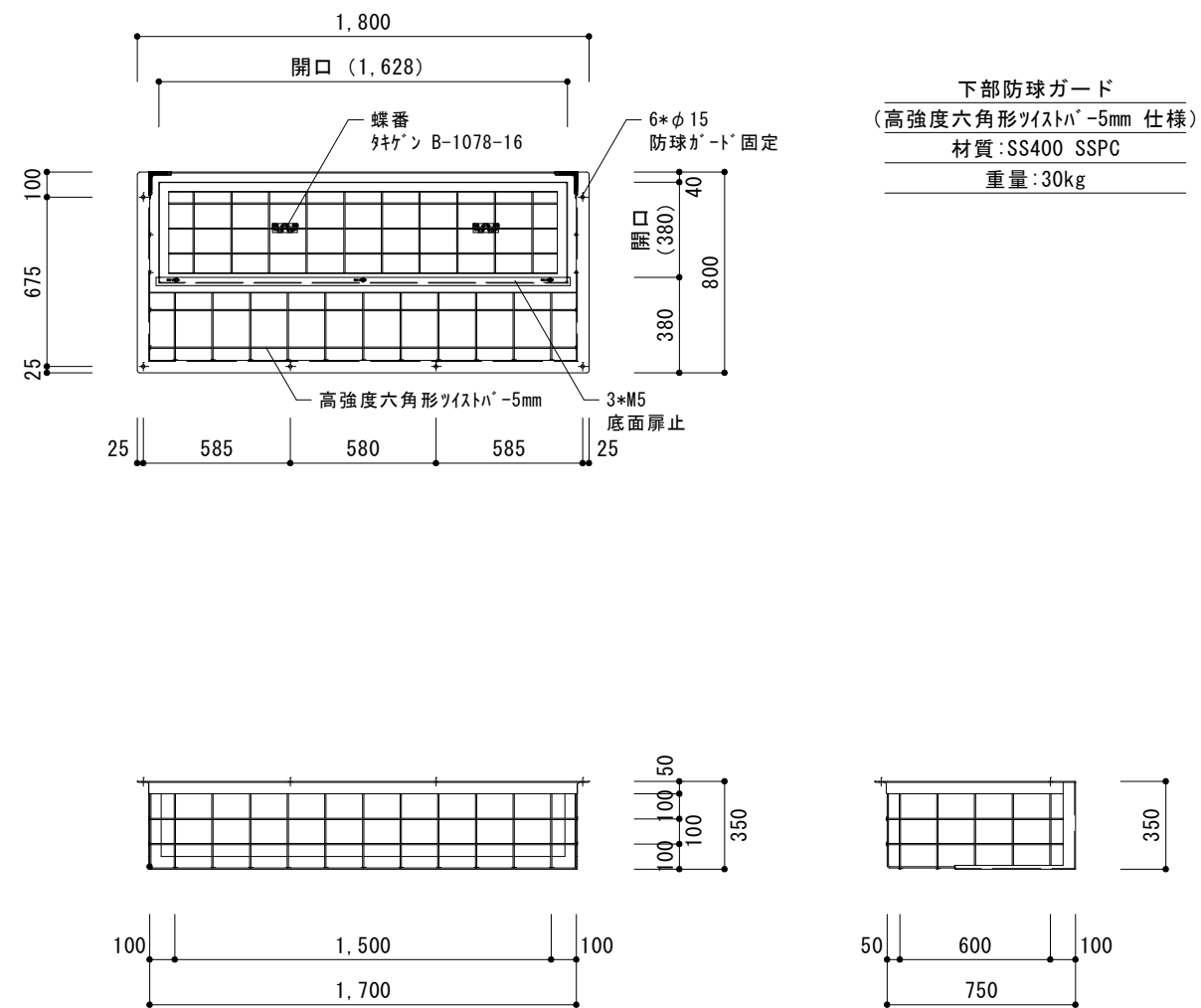
アリーナ南側展開図 S=1/100



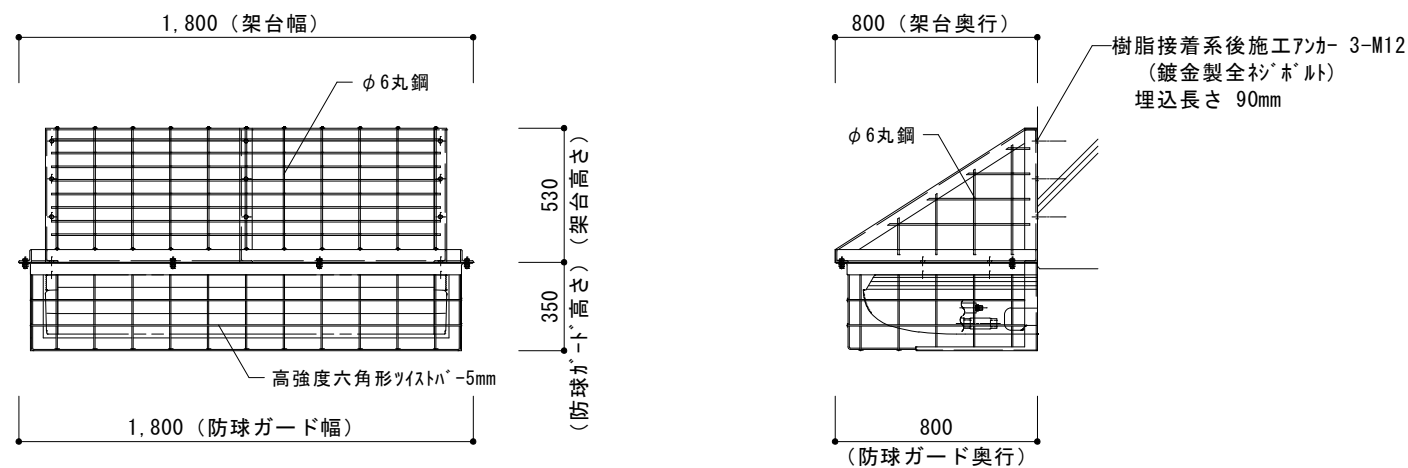
鋼材	SS400			※ブラケット架台台数 12台
アンカー筋	鍍金製全ネジボルト SS400			※配管用ガード 12箇所 (ネジリ六角鋼M5加工 ポリエステル樹脂粉体塗装)
樹脂接着系後施工アンカー	JCAA認証製品とする			※室内機本体設置は別途工事 (空調工事)
	穴明け前に既設躯体の鉄筋探査を行い鉄筋を切断しないこと			
塗装	ブラケット架台鉄部 ポリエステル樹脂粉体塗装			
防球ガード鋼線	SS400 ネジリ六角鋼M5加工 ポリエステル樹脂粉体塗装			
設計監理		工事名称		図名
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OKAZAKI CITY HALL		設計年度	江東小学校 屋内運動場空調機設置 (建築) 工事	(興文小) ブラケット 架台詳細図
		令和 7 年		
				8 / 2 4



ブラケット架台（上部ガード付）詳細図 S=1/30



下部防球ガード詳細図 S=1/30



正面姿図 S=1/30

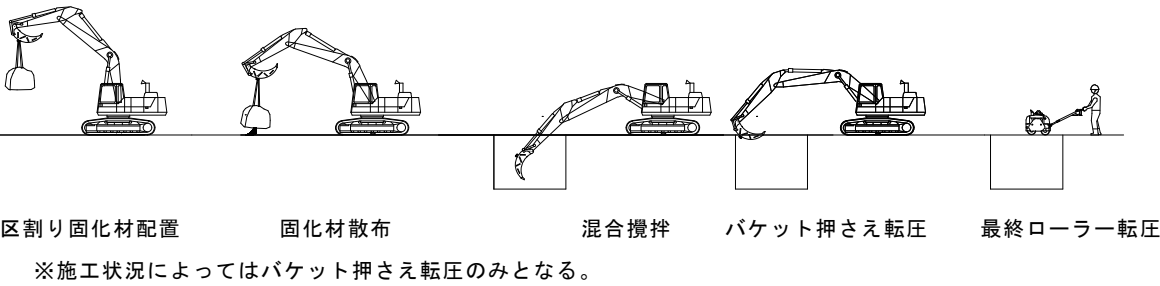
側面姿図 S=1/30

鋼材	SS400		※室内機設置は別途空調工事
アンカー筋	鍍金製全ネジボルト SS400		※配管用ガード SS400 ネジリ六角鋼M5加工 ポリエステル樹脂粉体塗装
樹脂接着系後施工アンカー	JCAA認証製品とする		
	穴明け前に既設躯体の鉄筋探査を行い鉄筋を切断しないこと		
塗装	ブラケット架台鉄部 ポリエステル樹脂粉体塗装		
防球ガード鋼線	SS400 ネジリ六角鋼M5加工 ポリエステル樹脂粉体塗装		

表層改良工法特記仕様書

1 工事概要

本工法は現地盤土とセメント系固化材とをバックホウで混合し、所要の強度を有する改良体を造成する工法である。



2 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか、「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（（財）日本建築センター）による。

改良厚さ、土量、位置および固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。

本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督員の承認を得るものとする。施工計画書には次の事項を明記する。

- (1) 工事内容（改良厚さ、土量、位置、設計基準強度等）
- (2) 工程表
- (3) 施工方法（仕様固化材、配合量等）
- (4) 施工機械
- (5) 施工管理方法
- (6) 品質管理方法
- (7) 安全管理方法
- (8) 請負業者の本工事責任者名
- (9) 本工事施工業者名および施工責任者名

3 特記事項

- (1) 改良厚さ、位置等は設計図書による。
- (2) 改良体の設計基準強度：Fc=300kN/m2
- (3) 必ず事前に配合試験を行い配合量の妥当性を確認する。

4. 配合管理

- (1) 地盤改良に使用する固化材は、六価クロム溶出抑制タイプのセメント系固化材とする。
- (2) $F_c = (1 - m \cdot V) \cdot q_{uf}$ F_c : 設計基準強度 (kN/m²)
 $q_{uf} = F_c / (1 - m \cdot V)$ m : 相関係数=1.3
 $q_{ul} = q_{uf} / d_1$ V : 変動係数=0.45
 d_1 : 現場/室内強さ比(表-1)

表1 (現場/室内) 強さ比の一例

固化材の添加形式	改良対象土	攪拌方法	(現場/室内)強度比
粉体	軟弱土	スタビライザ	0.5～0.8
		バックホウ	0.3～0.7

$q_{ul} = \{300 / (1 - 1.3 \times 0.45)\} / 0.5 = 1450 \text{ kN/m}^2$

推定配合量 80kg/m3（最終的には配合試験により決定する）

5 施工機械

- (1) 施工機械本体は、改良厚さに見合った掘削、混合能力を有すること。

6 施工

- (1) 施工
改良対象地盤にマーキングしできあがった升目に改良材を散布する。
混合した改良土は、状況を見てできるだけ早期に転圧を行う。
改良土は、転圧完了後所定の強度を得るまで養生する。
施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監督員と協議し、その指示を受ける。
施工精度を満足しない場合は、監督員と協議しその指示を受け適切な処置をする。

7 施工管理

- 施工過程における管理方法は次の通りとする。
- (1) 固化材散布量
マーキングに基づき1tフレコンを所定面積内に均一に散布する。
 - (2) 改良厚さ
混合中に機械を止めて、改良厚さをスタッフ等により測定する。
 - (3) 混合程度
固化材と改良対象土の色むらがなくなるまで混合する。

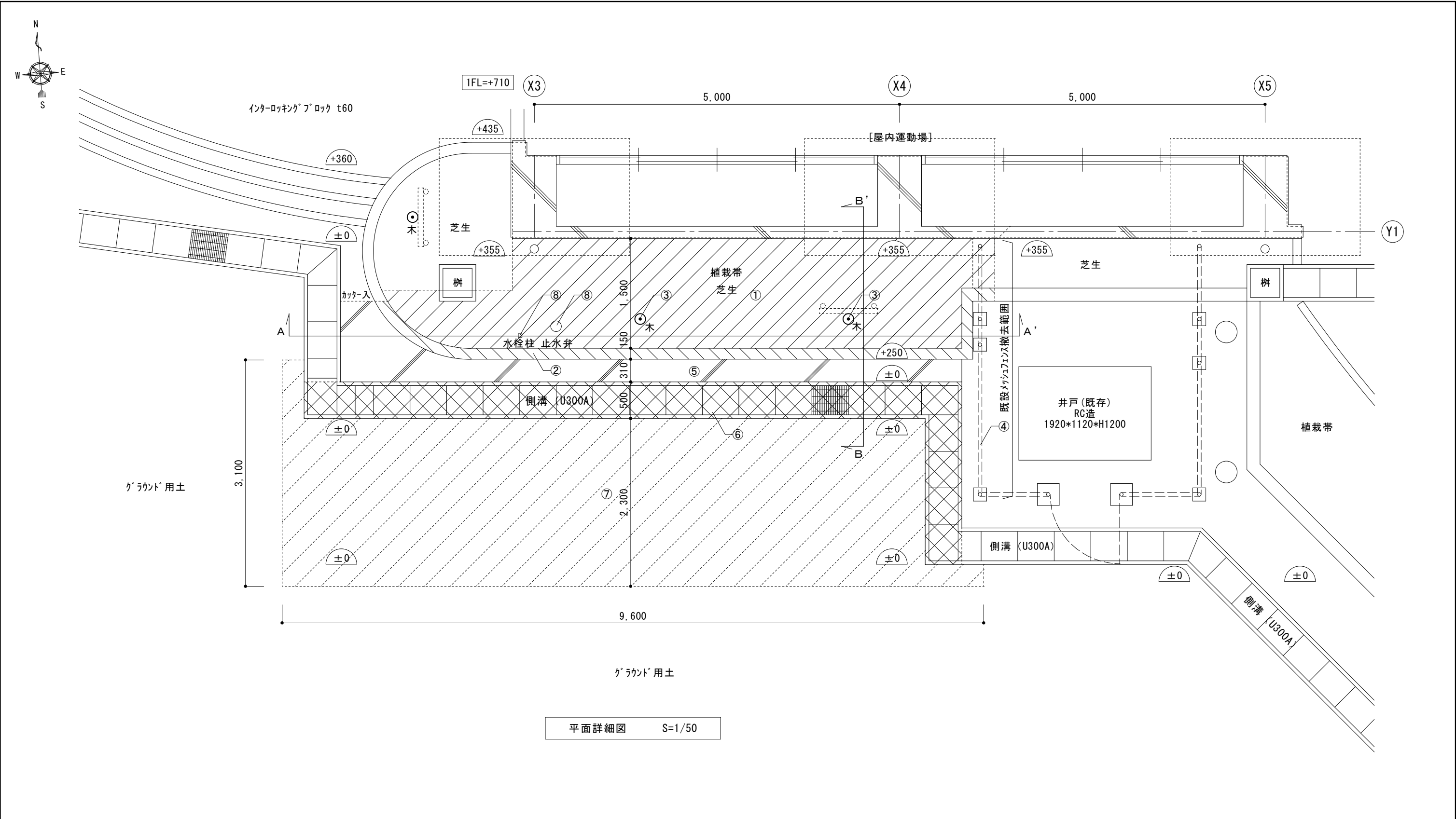
8 報告

- 工事完了後、次の事項について報告書をまとめて2部を監督員に提出する。
- (1) 施工日報（改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等）
 - (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
 - (3) 管理試験結果

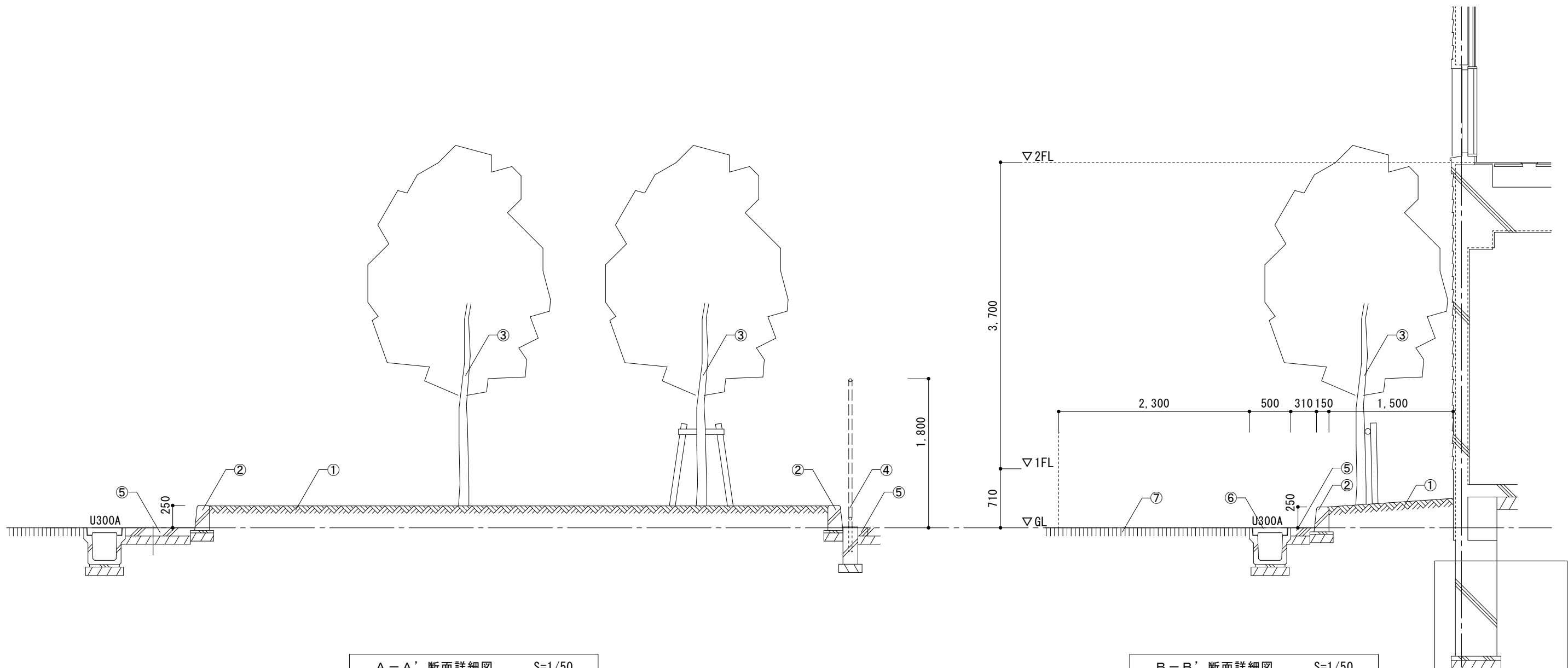
9 管理試験

- (1) 施工日報（改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等）
 - 1) 現場採取供試体
3ヶ所から改良土を採取し、寸法φ5cm×10cmの供試体を 3個/箇所作成し、一軸圧縮試験を行う。
 - 2) 材令28日で各箇所の圧縮強度の平均値が設計基準強度を上回ること。
- (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
配合計画段階で六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計画説明書）を提出する。
試験方法はセメント及びセメント系固化材を使用した改良土壌の六価クロム溶出試験（環境庁第46号（土壌汚染に係る環境基準）による。）
検査攪拌数、検査攪拌層、基準値は下記のものとする。

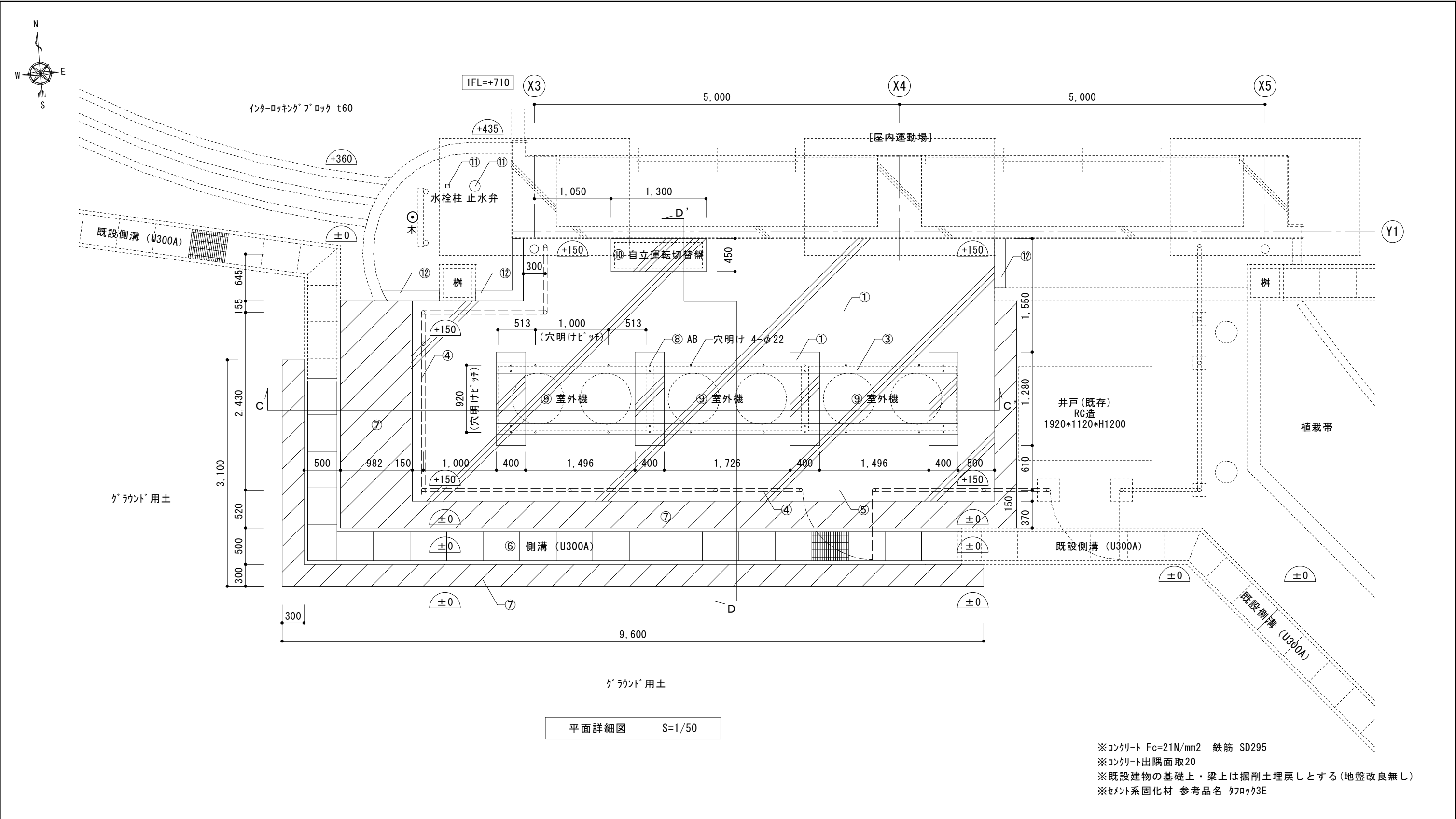
検体数	1検体
対象層	設計対象層 盛土層(粘性土)
基準値	0.05(mg/リットル)以下



凡 例												
符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	
①		植栽帯土	撤去	10.4	m2	⑤		土間コンクリート t100	カッター入れ 撤去	4.6	m2	
②		境界ブロック H250	一部撤去	9.0	m	⑥		側溝 (U300A)	再利用	11.0	m	
③		樹木 H=3.5m 幹φ0.15 枝張2m	伐採伐根撤去	2	本	⑦		グラウンド用土 t100	再利用 一部撤去	20.7	m2	
		二脚鳥居支柱	撤去	1	ヶ所				移設(別途空調工事)	1	ヶ所	
④		ネットフェンス H1800 ブロック基礎 180*180*H450	一部撤去	3.4	m	⑧		水栓柱、止水弁				
設計監理				設計年度		工事名称					図名	
大垣市都市計画部建築課				令和7年		興文小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置（建築）工事					(興文小) 室外機周り平面詳細図（現況）	
ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL											図番	
											11 / 24	

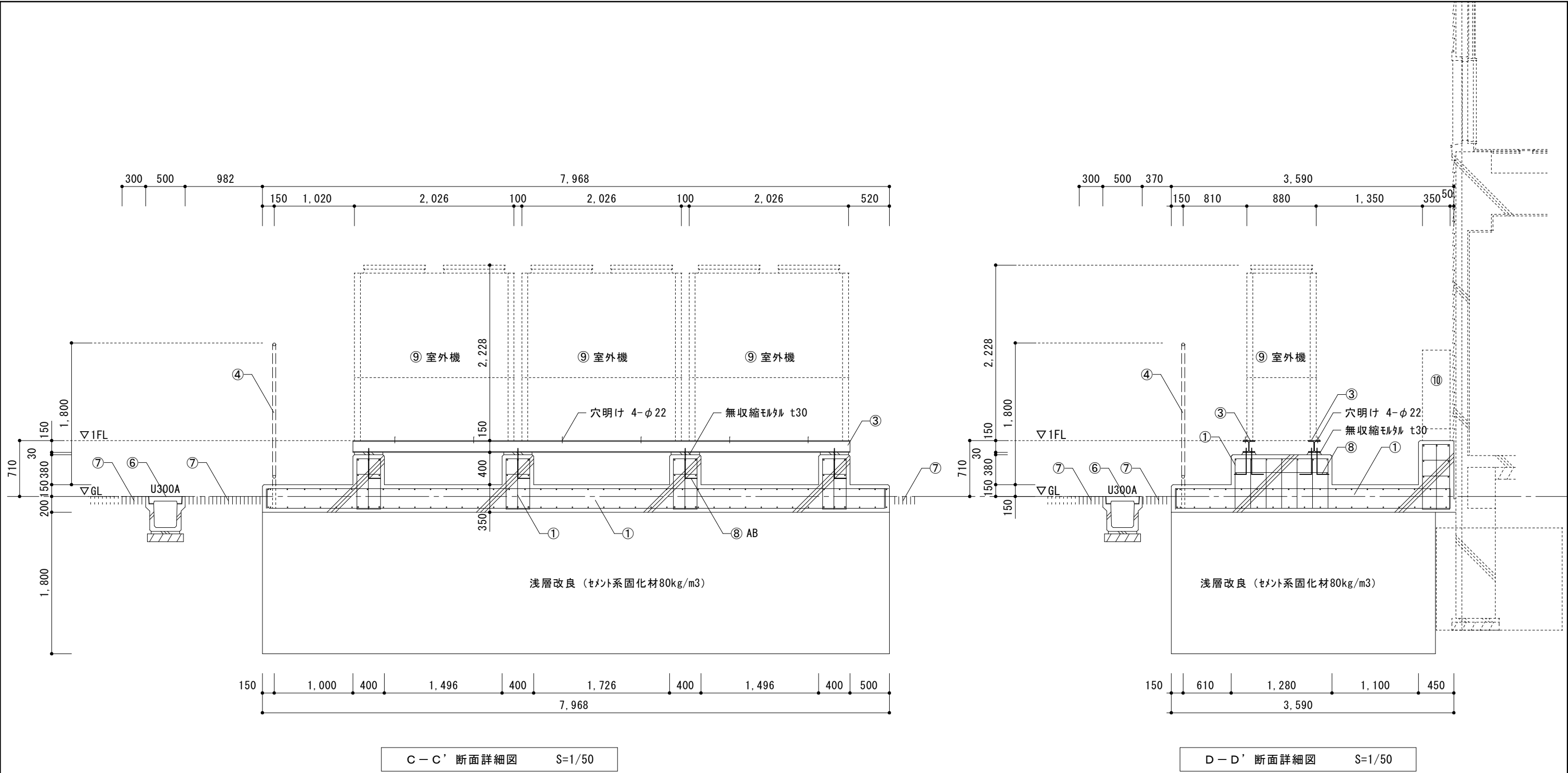


凡 例													
符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位		
①		植栽帯土	撤去	10.4	m2	⑤		土間コンクリート t100	カット入れ 撤去	4.6	m2		
②		境界ﾌﾞﾛｯｸ H250	一部撤去	9.0	m	⑥		側溝 (U300A)	再利用	11.0	m		
③		樹木 H=3.5m 幹φ0.15 枝張2m	伐採伐根撤去	2	本	⑦		ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ用土 t100	再利用 一部撤去	20.7	m2		
		二脚鳥居支柱	撤去	1	ヶ所	⑧		水栓柱、止水弁	移設(別途空調工事)	1	ヶ所		
④		ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ H1800 ﾌﾞﾛｯｸ基礎 180*180*H450	一部撤去	3.4	m								
設計監理				設計年度		工事名称					図名		図番
大垣市都市計画部建築課				令和7年		興文小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置（建築）工事					（興文小）室外機周り断面詳細図（現況）		12 / 24
ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL													

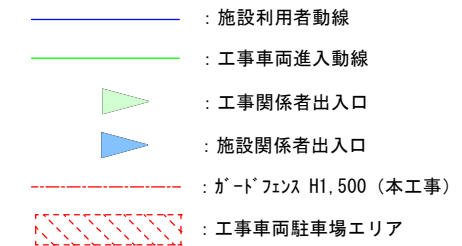


※コンクリート Fc=21N/mm2 鉄筋 SD295
※コンクリート出隅面取20
※既設建物の基礎上・梁上は掘削土埋戻しとする(地盤改良無し)
※セメント系固化材 参考品名 ｸﾞﾛｯｸ3E

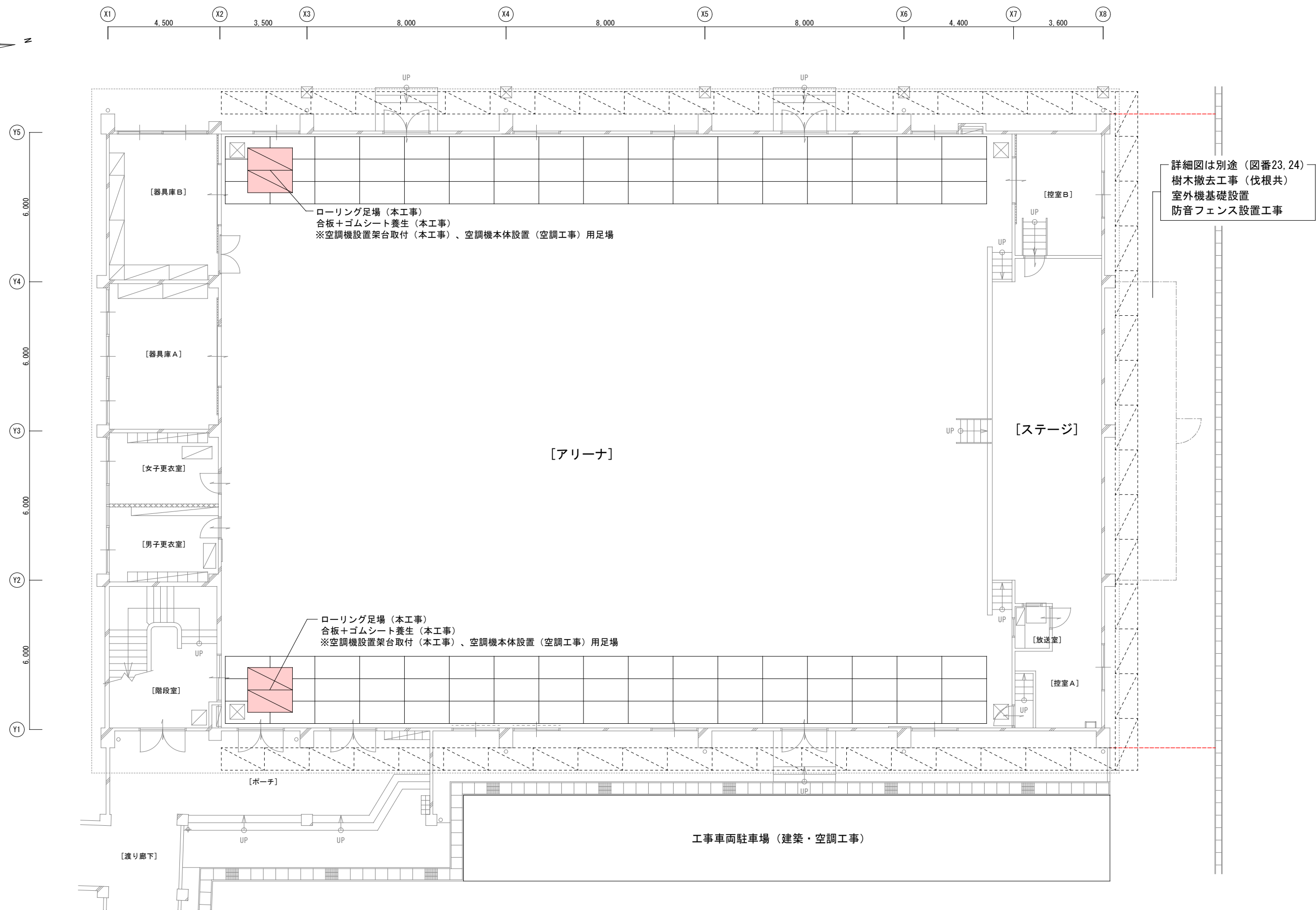
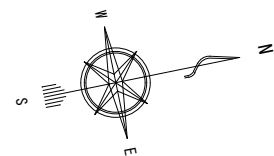
凡 例														
符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位
①		コンクリート基礎 ｹﾞﾗｳﾝﾄﾞ基礎 t350 鉄筋D10@200ｸﾛｽｸﾞﾗﾌﾞﾙ	27.3	m2	⑥		側溝 (U300A) (既設利用 一部新品)	11.0	m	⑪	□ ○	水栓柱、止水弁 移設後 (別途空調工事)	1	ヶ所
		梁形部 上下端筋 3-D13 ST D10@200	5	ヶ所	⑦		ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ用土 t100 復旧 (既設利用)	10.7	m2	⑫		境界ﾌﾞﾛｯｸ h250	2.7	m
③		室外機架台 H-150*150*7*10 溶融亜鉛鍍金 AB穴明け 室外機固定穴明け	2	ヶ所	⑧		AB-M16 亜鉛鍍金製 有効埋込長さ L=250 DN 樹脂ｷｬｯﾌﾟ	16	ヶ所					
④		メッシュフェンス H1800 埋込300 (参考品名 朝日ｽﾃｰﾙ工業(株) ﾋﾞﾆﾌｧﾝｽ)	14.2	m	⑨		室外機 (別途空調工事)	3	台					
⑤		片開きフェンス扉 W1000 回転施錠+南京錠	1	ヶ所	⑩		自立運転切替盤 (別途空調工事)	1	台	※③の室外機固定用穴あけ位置については、空調工事業者との協議による				
設計監理		大垣市都市計画部建築課		設計年度	工事名称			図名		図番				
		ARCHITECTURE DIVISION OKAZAKI CITY HALL		令和7年	興文小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置 (建築) 工事			(興文小) 室外機周り平面詳細図 (改修後)		13 / 24				



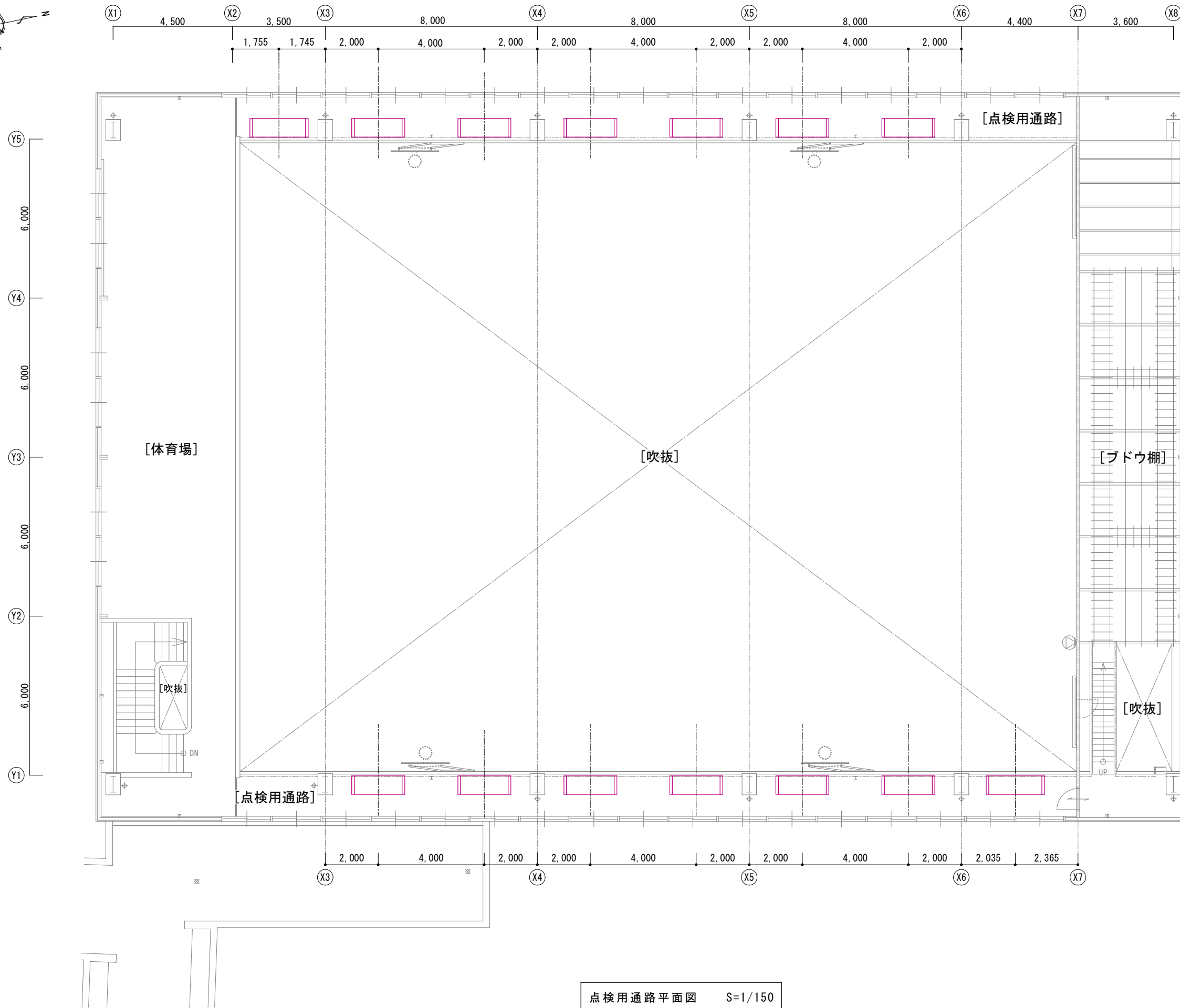
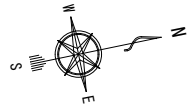
凡 例														
符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位
①		コンクリート基礎 ベタ基礎 t350 鉄筋D10@200クロスバール	27.3	m2	⑥		側溝 (U300A) (既設利用 一部新品)	11.0	m	⑪	□ ○	水栓柱、止水弁 移設後 (別途空調工事)	1	ヶ所
		梁形部 上下端筋 3-D13 ST D10@200	5	ヶ所	⑦		グラウト用土 t100 復旧 (既設利用)	10.7	m2	⑫		境界ブロック h250	2.7	m
③		室外機架台 H-150*150*7*10 溶融亜鉛鍍金 AB穴明け 室外機固定穴明け	2	ヶ所	⑧		AB-M16 亜鉛鍍金製 有効埋込長さ L=250 DN 樹脂キャップ	16	ヶ所					
④		メッシュフェンス H1800 埋込300 (参考品名 朝日スチール工業(株) エニフェンス)	14.2	m	⑨		室外機 (別途空調工事)	3	台					
⑤		片開きフェンス扉 W1000 回転施錠+南京錠	1	ヶ所	⑩		自立運転切替盤 (別途空調工事)	1	台	※③の室外機固定用穴あけ位置については、空調工事業者との協議による				
設計監理 大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OKAZAKI CITY HALL			設計年度 令和7年	工事名称 興文小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置 (建築) 工事				図名 (興文小) 室外機周り断面詳細図 (改修後)				図番 14 / 24		



- ・本工事における屋外足場設置工事は、空調工事受注者にて設置する
- ・屋内運動場の西側を通行する場合は、別途工事と調整を行うこと
(屋内運動場西側を通った先は、別工事の工事エリア)



屋内運動場 1 階平面図 S=1/150



…室内機用取付架台設置（本工事）
※点検通路上に設置
取付架台は詳細図（図番19）参照
室内機本体設置（空調工事）

点検用通路平面図 S=1/150

設計監理

大垣市都市計画部建築課
ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL

設計年度
令和7年

工事名称

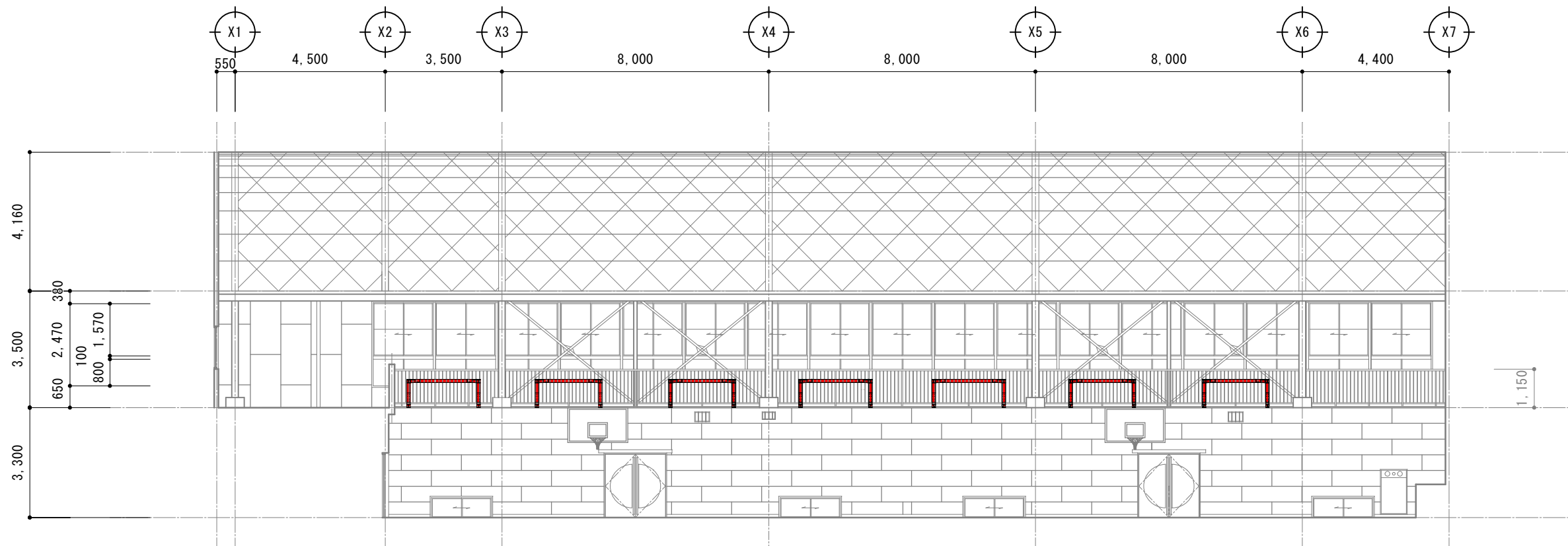
興文小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置（建築）工事

図名


（西小）点検用通路平面図

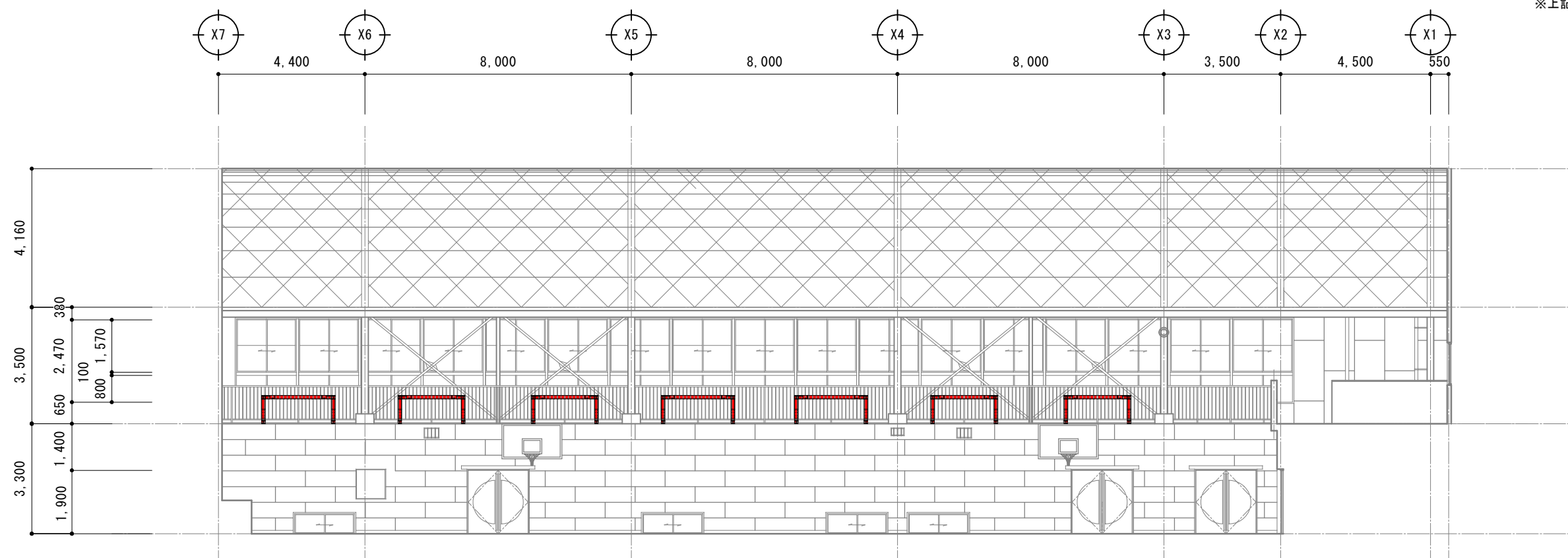
図番

17 / 24

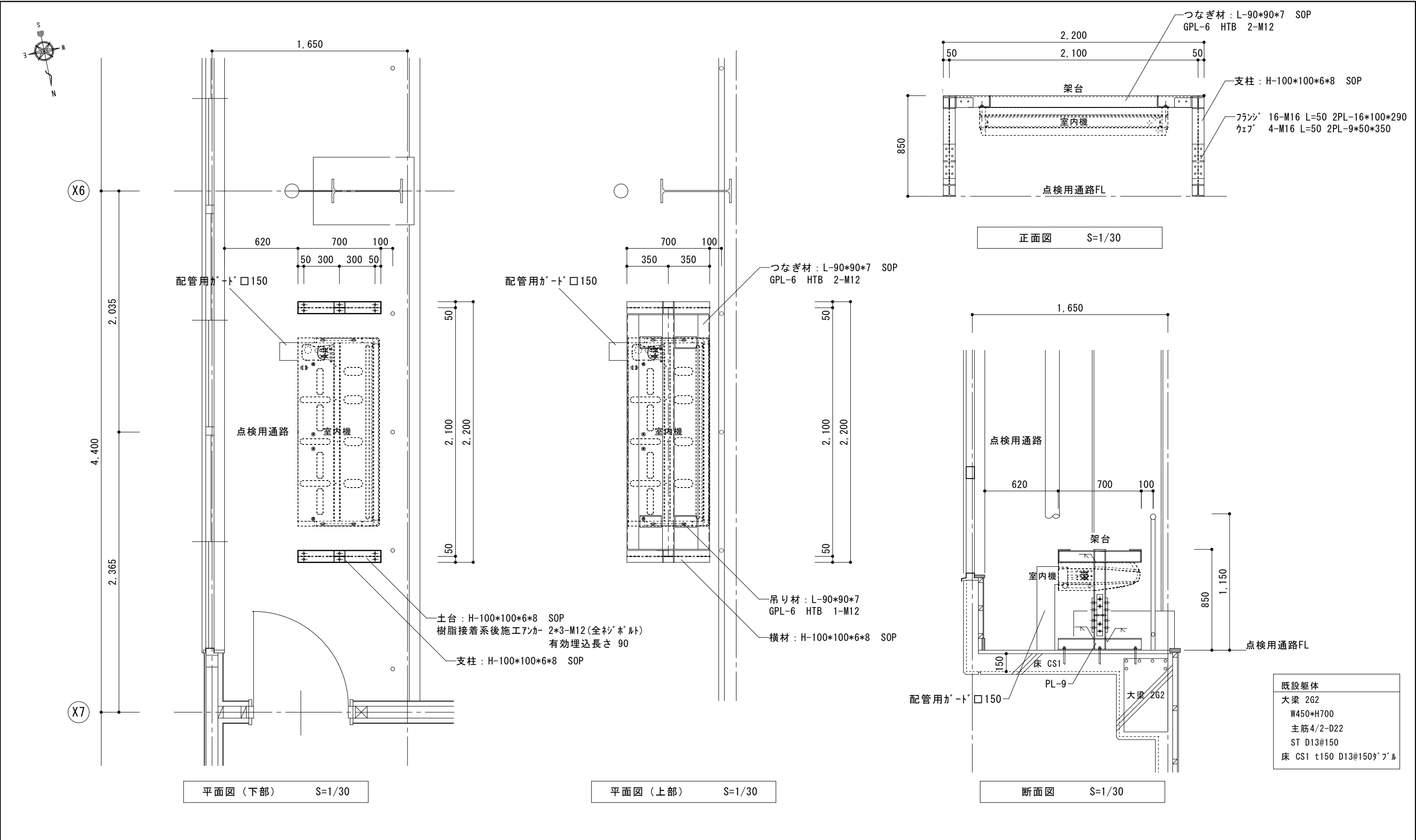


アリーナ西側展開図 S=1/150

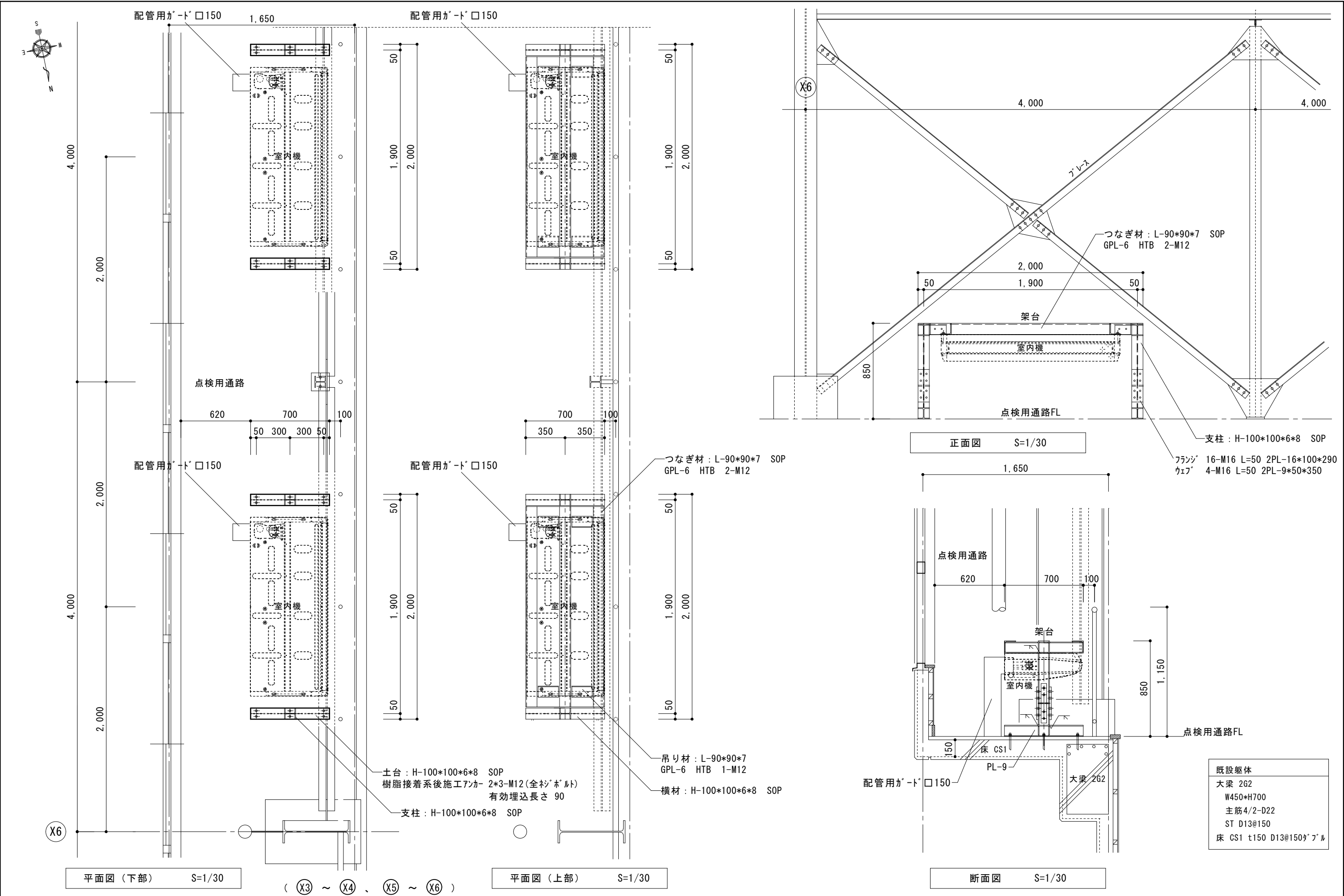
 : 室内機用架台 単独架台14台 W2200×D700×H850
 (点検用通路の手摺内側に設置)
 ※上記空調機本体は空調工事にて取付



アリーナ東側展開図 S=1/150



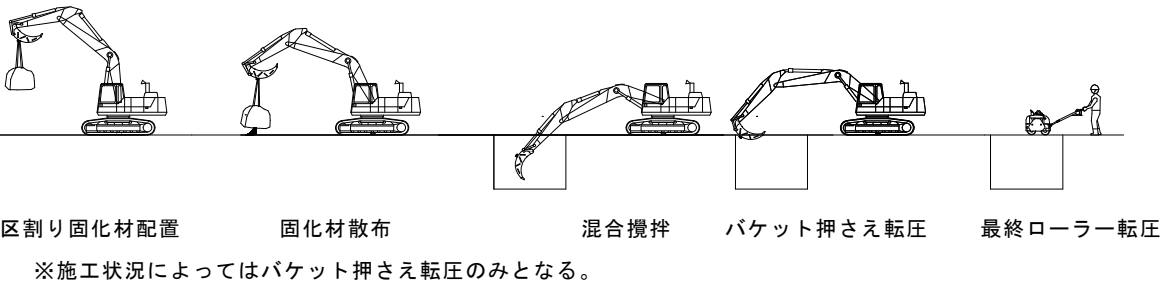
鋼材	SS400		※架台台数 一般部 6台 プレス下部 8台
HTB	S10T		※配管用ｶﾞｰﾄﾞ 14箇所 (ﾎﾟﾘﾔﾐﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞM5加工 ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂粉体塗装)
樹脂接着系後施工アンカー	JCAA認証製品とする 穴明け前に既設躯体の鉄筋探査を行い鉄筋を切断しないこと		※室内機本体設置は別途空調工事
アンカー筋	鍍金製全ネジボルト SS400		※室内機取付位置については、空調工事業者との打ち合わせによる
塗装	鉄部 SOP		
設計監理	大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OKAZAKI CITY HALL	設計年度 令和7年	工事名称 興文小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置（建築）工事
			図名 (西小) 室内機吊架台詳細図 1
			図番 19 / 24



表層改良工法特記仕様書

1 工事概要

本工法は現地盤土とセメント系固化材とをバックホウで混合し、所要の強度を有する改良体を造成する工法である。



2 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか、「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（（財）日本建築センター）による。

改良厚さ、土量、位置および固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。

本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督員の承認を得るものとする。施工計画書には次の事項を明記する。

- (1) 工事内容（改良厚さ、土量、位置、設計基準強度等）
- (2) 工程表
- (3) 施工方法（仕様固化材、配合量等）
- (4) 施工機械
- (5) 施工管理方法
- (6) 品質管理方法
- (7) 安全管理方法
- (8) 請負業者の本工事責任者名
- (9) 本工事施工業者名および施工責任者名

3 特記事項

- (1) 改良厚さ、位置等は設計図書による。
- (2) 改良体の設計基準強度：Fc=300kN/m2
- (3) 必ず事前に配合試験を行い配合量の妥当性を確認する。

4. 配合管理

- (1) 地盤改良に使用する固化材は、六価クロム溶出抑制タイプのセメント系固化材とする。
- (2) $F_c = (1 - m \cdot V) \cdot q_{uf}$ F_c : 設計基準強度 (kN/m²)
 $q_{uf} = F_c / (1 - m \cdot V)$ m : 相関係数=1.3
 $q_{ul} = q_{uf} / d_1$ V : 変動係数=0.45
 d_1 : 現場/室内強さ比(表-1)

表1 (現場/室内) 強さ比の一例

固化材の添加形式	改良対象土	攪拌方法	(現場/室内)強度比
粉体	軟弱土	スタビライザ	0.5~0.8
		バックホウ	0.3~0.7

$q_{ul} = \{300 / (1 - 1.3 \times 0.45)\} / 0.5 = 1450 \text{ kN/m}^2$

推定配合量 80kg/m3（最終的には配合試験により決定する）

5 施工機械

- (1) 施工機械本体は、改良厚さに見合った掘削、混合能力を有すること。

6 施工

- (1) 施工
 - 改良対象地盤にマーキングしできあがった升目に改良材を散布する。
 - 混合した改良土は、状況を見てできるだけ早期に転圧を行う。
 - 改良土は、転圧完了後所定の強度を得るまで養生する。
 - 施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監督員と協議し、その指示を受ける。
 - 施工精度を満足しない場合は、監督員と協議しその指示を受け適切な処置をする。

7 施工管理

- 施工過程における管理方法は次の通りとする。
- (1) 固化材散布量
 - マーキングに基づき1tフレコンを所定面積内に均一に散布する。
 - (2) 改良厚さ
 - 混合中に機械を止めて、改良厚さをスタッフ等により測定する。
 - (3) 混合程度
 - 固化材と改良対象土の色むらがなくなるまで混合する。

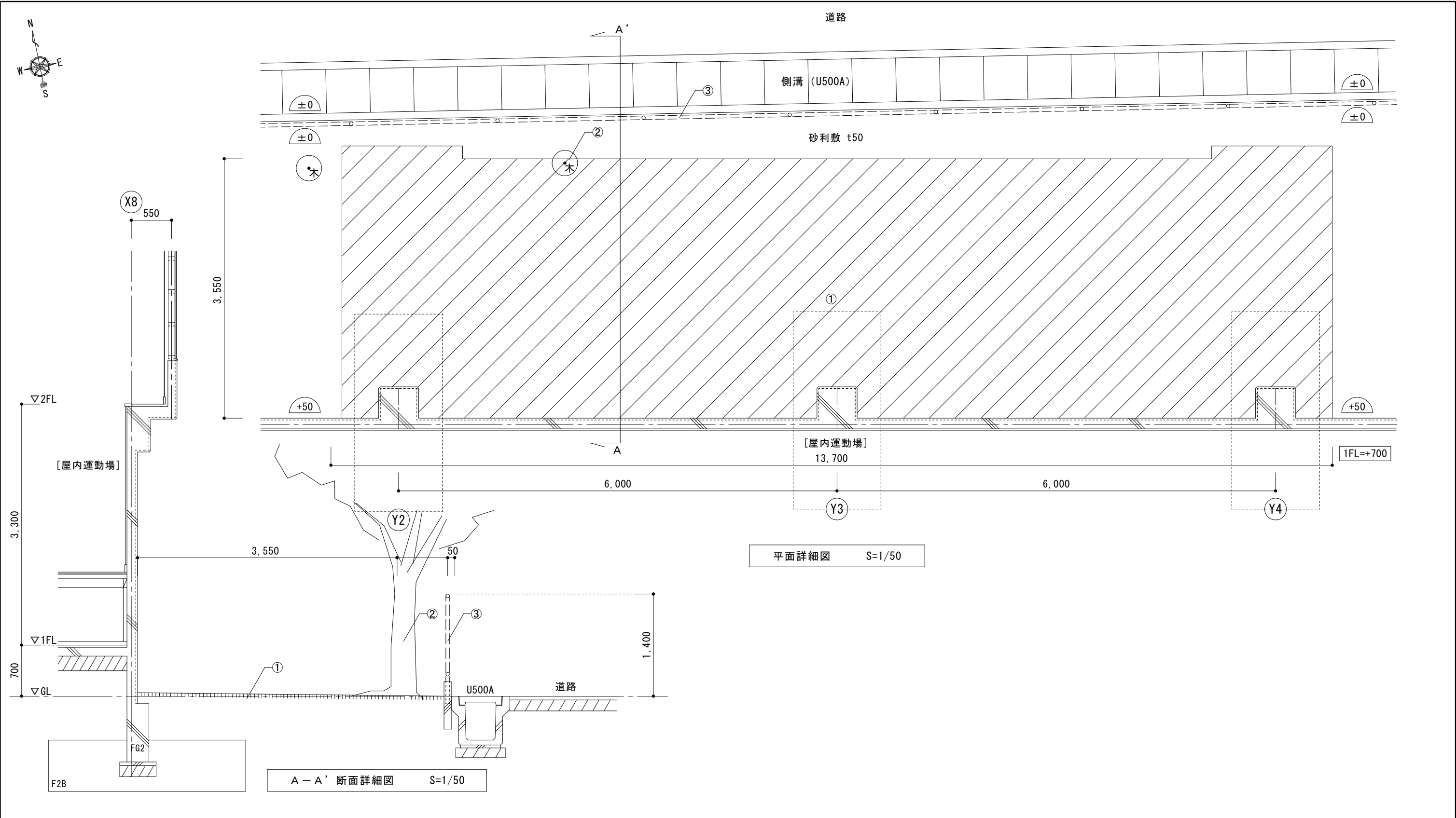
8 報告

- 工事完了後、次の事項について報告書をまとめて2部を監督員に提出する。
- (1) 施工日報（改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等）
 - (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
 - (3) 管理試験結果

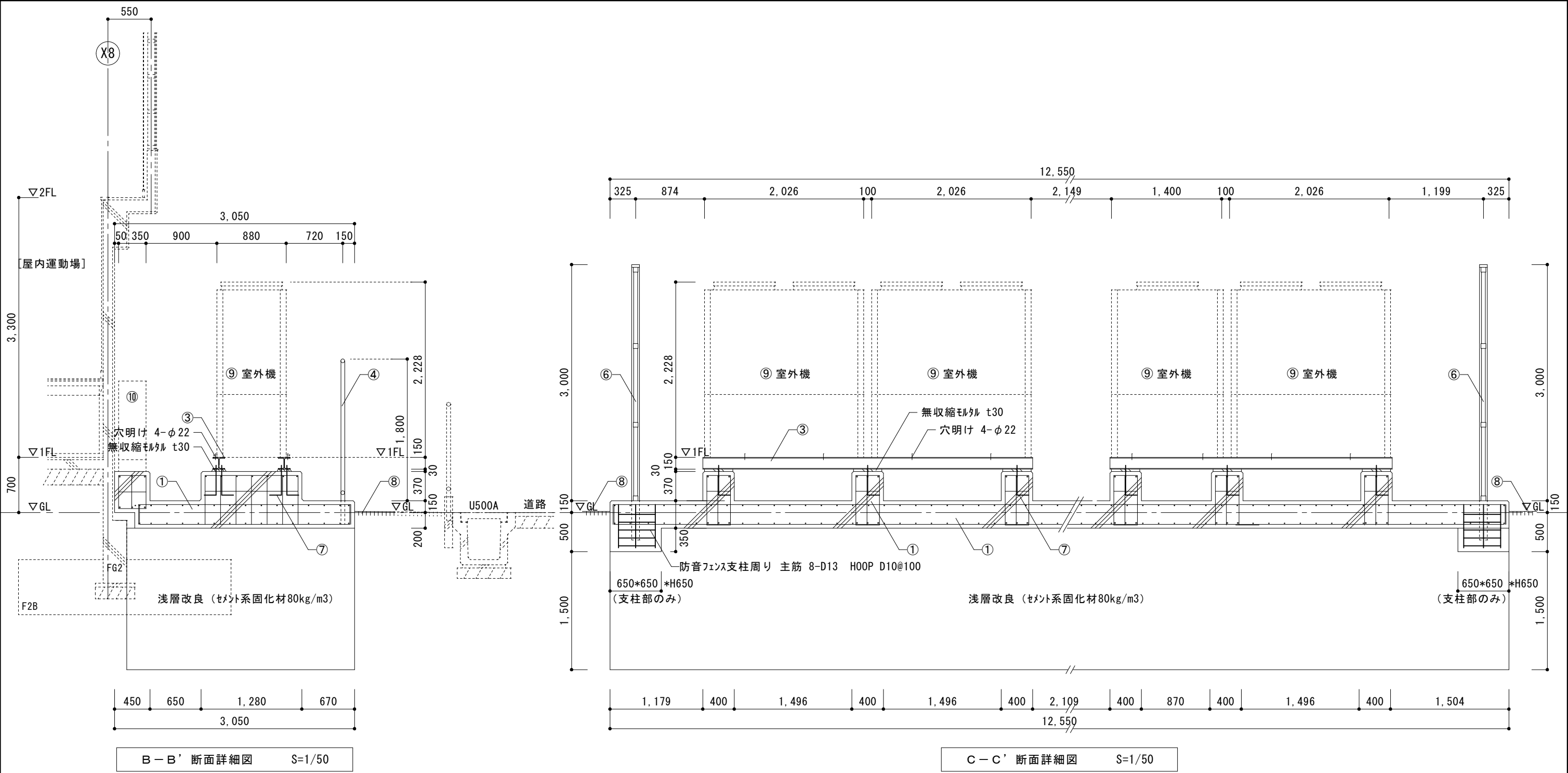
9 管理試験

- (1) 施工日報（改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等）
 - 1) 現場採取供試体
 - 3ヶ所から改良土を採取し、寸法φ5cm×10cmの供試体を 3個/箇所作成し、一軸圧縮試験を行う。
 - 2) 材令28日で各箇所の圧縮強度の平均値が設計基準強度を上回ること。
- (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
 - 配合計画段階で六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計画説明書）を提出する。
 - 試験方法はセメント及びセメント系固化材を使用した改良土壌の六価クロム溶出試験（環境庁第46号（土壌汚染に係る環境基準）による。）
 - 検査攪拌数、検査攪拌層、基準値は下記のものとする。

検体数	1検体
対象層	設計対象層 盛土層(粘性土)
基準値	0.05(mg/リットル)以下



凡 例												
符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	
①		砂利敷 t50	一部撤去	48.0	m2							
②	⊙木	樹木 H=6.0m 幹φ0.35 枝張6m	伐採伐根撤去	1	本							
③	==o==	ネットフェンス H1400	そのまま									
設計監理 大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL			設計年度 令和7年	工事名称 興文小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置（建築）工事					図名 (西小) 室外機周り平面詳細図・断面詳細図（現況）			図番 22 / 24



凡 例														
符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位
①		コンクリート基礎 ベタ基礎部 t350 鉄筋D10@200クロスタプル	37.6	m2	⑥		防音目隠しフェンス H3000 埋込深さ500	4.9	m	⑨		室外機（別途空調工事）	4	台
		梁形部 上下主筋 3-D13 ST D10@200	7	ヶ所			支柱周り 主筋 8-D13 HOOP D10@100			⑩		自立運転切替盤（別途空調工事）	1	台
③		室外機架台 H-150*150*7*10 溶融亜鉛鍍金 AB穴明け 室外機固定穴明け	4	ヶ所			（参考品名 リカル防音めかくしフェンスMB-2型(遮音タイプ)間仕切タイプ）							
④		メッシュフェンス H1800 埋込300（参考品名 朝日スチール工業(株) エニフェンス）	11.6	m	⑦		AB-M16 亜鉛鍍金製 有効埋込長さ L=250 DN 樹脂キャップ	20	ヶ所					
⑤		片開きフェンス扉 W1000 回転施錠＋南京錠	1	ヶ所	⑧		砂利敷復旧 t50	10.4	m2	※③の室外機固定用穴あけ位置については、空調工事業者との協議による				
設計監理 大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL			設計年度 令和7年	工事名称 興文小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置（建築）工事				図名 (西小) 室外機周り断面詳細図（改修後）				図番 24 / 24		